



取扱説明書

WIRELESS IP CAMERA
VE-CAM10
VE-CAM10D

IEEE802.11n/b/g規格準拠

はじめに

1 ご使用になる前に

2 設定画面について

3 保守について

4 ご参考に

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、IEEE802.11n/b/g規格に準拠した、無線LAN機能搭載のIPカメラです。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

「 」表記：本製品の各メニューと、そのメニューに属する設定画面の名称を(「 」)で囲んで表記します。

[]表記：各設定画面の設定項目名を([])で囲んで表記します。

< >表記：設定画面上に設けられたコマンドボタンの名称を(< >)で囲んで表記します。

※ 本書は、IPC_D1202-B0007P10D1904C63のファームウェアを使用して説明しています。

※ 本書では、Windows 10の画面を例に説明しています。

※ 本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

※ 本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

登録商標/著作権

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。

iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Wi-Fi、WPAは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

ONVIFは、Onvif Inc.の商標または登録商標です。

Ultra 265は、Zhejiang Uniview Technologies Co., Ltd.の商標または登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

本ソフトウェア、および本ドキュメントは、アイコム株式会社が著作権を保有します。

はじめに

本製品の概要について

- ◎ ネットワークに接続すると、遠隔でIPカメラの映像が確認できます。
- ◎ IEEE802.11n/b/g規格に準拠し、最大150Mbps(理論値)の速度で通信できます。
- ◎ ネットワーク認証は、「オープンシステム(認証なし)」、「WEP(共有キー)」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」に対応しています。
- ◎ 赤外線暗視機能を搭載しているため、夜間や光のない環境でも撮影できます。
- ◎ IP67(耐塵形と防浸形)の性能に対応できるように設計されています。(本体のみ)
- ◎ 本製品は、免許不要・資格不要です。

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP6X(耐塵形)：試験用粉塵を1m³あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、機器内部に粉塵の侵入がないこと

IPX7(防浸形)：水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、機器として機能すること

出荷時のおもな設定値

設定メニュー	設定画面	設定タブ	設定名称	設定値
ネットワーク	ネットワーク	ネットワーク	IPアドレスを取得	DHCP
			IPアドレス	192.168.0.1
			サブネットマスク	255.255.255.0
ビデオ	スナップショット	スナップショット	スナップショット	ON
			スナップショットモード	スケジュール
ストレージ	ストレージ	ストレージ	ストレージポリシー	マニュアルストレージ
			ストレージが一杯のとき	上書き
セキュリティ	ユーザー	ユーザー	ユーザー名	admin(変更不可)
			ユーザータイプ	管理者(変更不可)

不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

はじめに

各設定ツールの機能比較

(2020年5月現在)

◎VE-CAM10/VE-CAM10D(本書)

パソコンからIPカメラの自動録画、詳細な設定をする場合は、パソコンのWWWブラウザで設定します。

◎Guard Station

パソコンから複数台のIPカメラを管理できます。

パソコンからIPカメラを閲覧できるGuard Station(無償ダウンロード)があります。

弊社ホームページに掲載の「Guard Station 操作説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがってインストールください。

◎ST-CAM10(近日公開予定)

Android端末、iOS端末から複数台のIPカメラを管理できます。

Android端末、iOS端末からIPカメラを閲覧できるST-CAM10(無償ダウンロード)があります。

弊社ホームページに掲載の「ST-CAM10 操作説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがってインストールください。

※Guard Stationは、サポート対象外です。

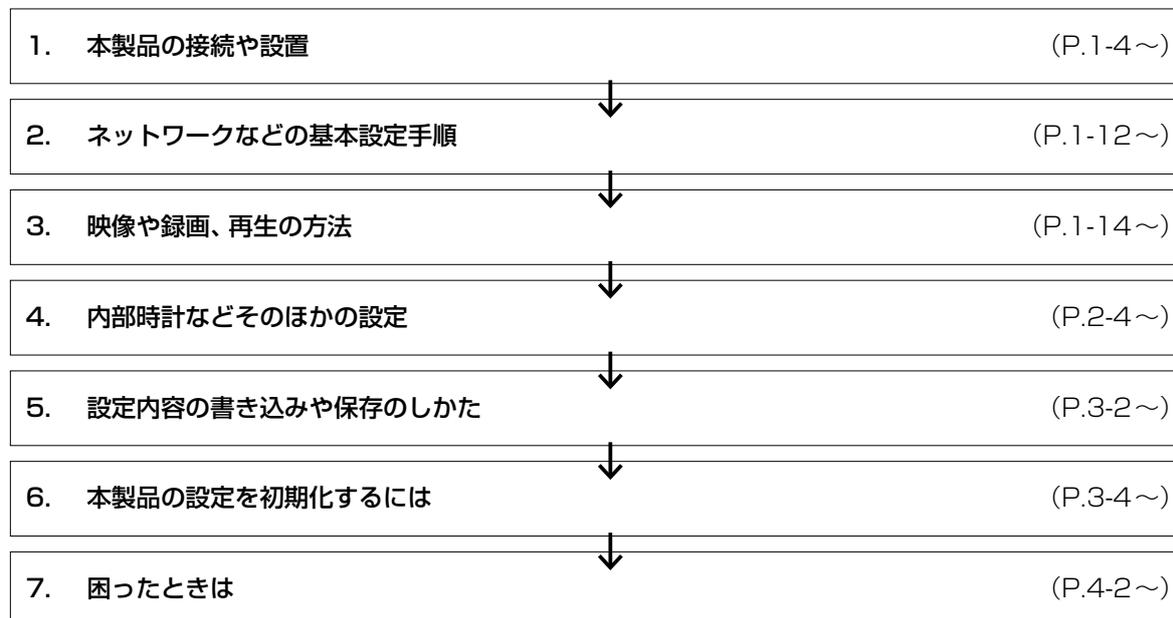
※これらのソフトウェアは、機能の拡張や改良のため、ソフトウェアをバージョンアップすることがあります。

更新作業をする前に、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

はじめに

ご使用までの流れ

本製品を設定されるときは、次の手順にしたがってお読みください。



この章では、
本製品の基本操作やおもな機能などを説明しています。

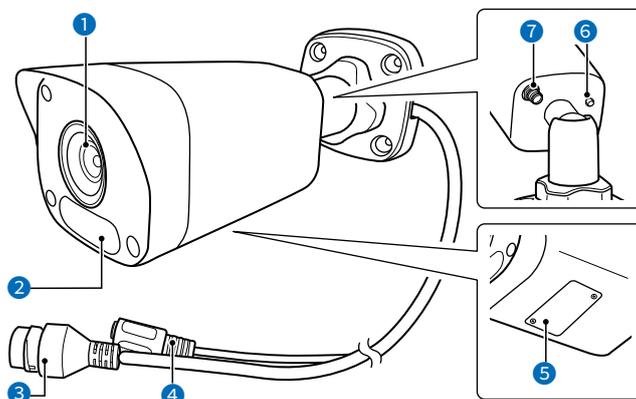
1. 各部の名称と機能	1-2
■ VE-CAM10	1-2
■ VE-CAM10D	1-3
2. 接続や設置について	1-4
■ 本製品を固定するには(VE-CAM10)	1-4
■ 本製品を固定するには(VE-CAM10D)	1-5
■ 設置場所について	1-6
■ 防水処理について	1-6
■ アンテナの接続(VE-CAM10)	1-7
3. 導入のしかた	1-8
■ 設定に使うパソコンを接続する	1-8
■ 設定画面にアクセスするには(DHCPサーバーがないネットワークを使用する場合)	1-9
■ 設定画面にアクセスするには(DHCPサーバーがあるネットワークを使用する場合)	1-10
■ パスワードを変更するときは	1-11
■ 本体IPアドレスを変更するときは	1-12
■ 設定画面の名称と機能について	1-13
4. 映像を確認する	1-14
5. 時間を設定する	1-15
6. ローカル録画をする	1-16
7. 自動で録画する	1-17
■ 常時録画をする	1-17
■ スケジュール録画をする	1-18
8. 録画を再生する	1-19

1 ご使用になる前に

1. 各部の名称と機能

■ VE-CAM10

VE-CAM10の接続部やボタンについて説明します。



- ① レンズ 撮影時に使用します。

- ② ランプ ナイトモード時(P.2-45)に点灯します。
電源を入れると点灯し、起動が完了すると消灯します。
※IPアドレスが取得できないなど、ネットワークに接続できない場合は、起動後、周期的な点滅がつづきます。
※ネットワークに接続したあとは、切断状態になってもランプは点滅しません。

- ③ [LAN]ポート(LANケーブル) ... LANケーブルを接続します。

- ④ DCジャック(電源ケーブル) ACアダプターを接続します。

- ⑤ SDカードスロット カバーをはずすと、microSDカードを挿入できます。(P.1-4)

- ⑥ 〈RESET〉ボタン 電源を入れてから10分以内にボタンを約15秒押し、本製品を出荷時の状態に戻します。
詳しくは、3-4ページをご覧ください。

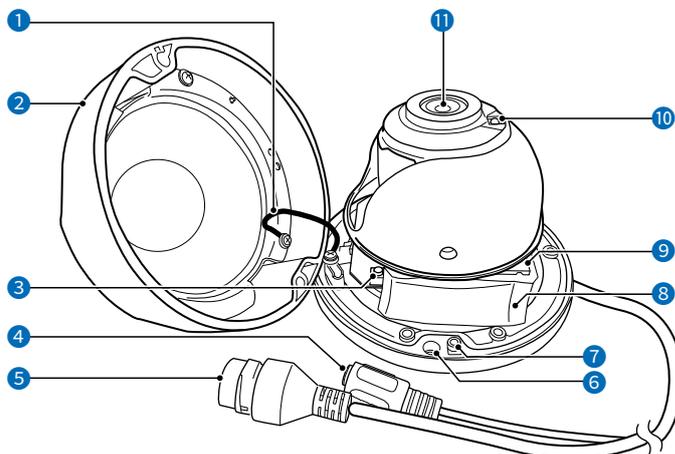
- ⑦ アンテナコネクター アンテナ(付属品)を接続します。
アンテナの接続については、1-7ページをご覧ください。

1 ご使用になる前に

1. 各部の名称と機能

■ VE-CAM10D

VE-CAM10Dの接続部やボタンについて説明します。



- ① 落下防止ケーブル …………… 本製品を壁などに設置している場合に、カバーをはずしても落ちないようにします。
- ② カバー …………… レンズなどの機器を保護します。
- ③ <RESET>ボタン …………… 電源を入れてから10分以内にボタンを約15秒押し、本製品を出荷時の状態に戻します。
詳しくは、3-4ページをご覧ください。
- ④ DCジャック(電源ケーブル) …… ACアダプターを接続します。
- ⑤ [LAN]ポート(LANケーブル) …… LANケーブルを接続します。
- ⑥ 壁面取付ネジ穴 …………… 壁面や天井に取り付けるときに使用します。
- ⑦ カバー取付ネジ穴 …………… カバーを取り付けるときに使用します。
- ⑧ 乾燥剤 …………… カメラの品質を保たせます。
- ⑨ SDカードスロット …………… microSDカードを挿入します。
- ⑩ ランプ …………… ナイトモード時(P.2-45)に点灯します。
電源を入れると点灯し、起動が完了すると消灯します。
※IPアドレスが取得できないなど、ネットワークに接続できない場合は、起動後、周期的な点滅がつづきます。
※ネットワークに接続したあとは、切断状態になってもランプは点滅しません。
- ⑪ レンズ …………… 撮影時に使用します。

1 ご使用になる前に

2. 接続や設置について

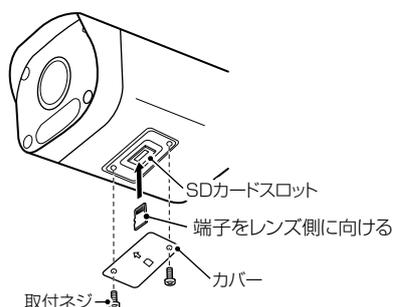
■ 本製品を固定するには(VE-CAM10)

次の手順でVE-CAM10を取り付けます。

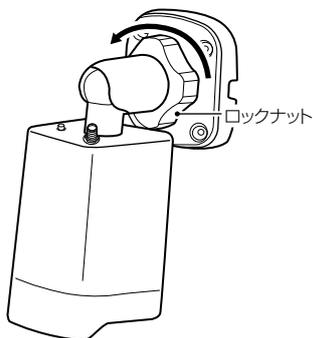
VE-CAM10の寸法図は、4-6ページをご覧ください。

1 SDカードスロットのカバーをはずします。

2 microSDカード(市販品)を挿入し、カバーを取り付けます。

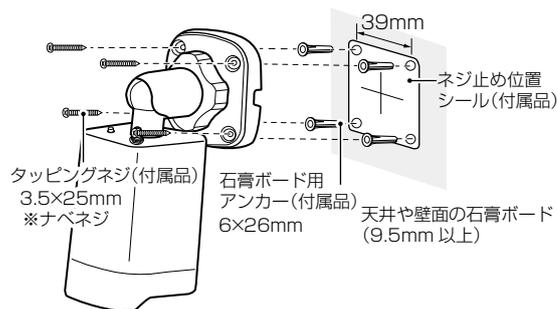


3 ロックナットを緩めます。

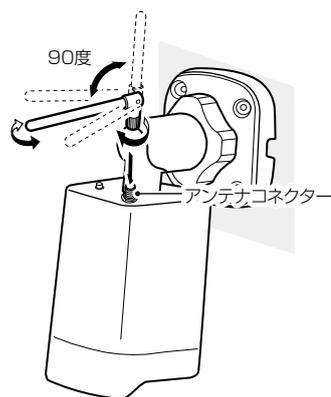


4 ネジ止め位置シール(付属品)を取付面に貼り、直径6mmの穴をドリルで4つ開けます。パソコン、またはスマートフォン専用アプリを使用し、本製品の映像を確認しながら設置してください。

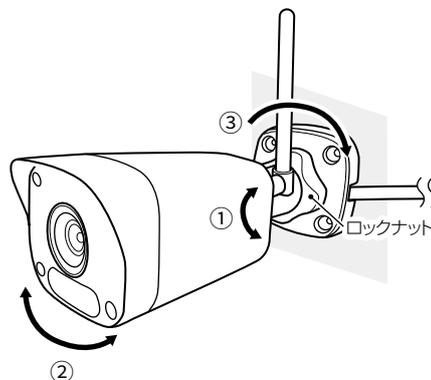
5 石膏ボード用アンカー(付属品)を穴に差し込み、タッピングネジ(付属品)で本製品本体を固定します。



6 アンテナ(付属品)を取り付けます。詳しくは1-7ページをご覧ください。



7 本製品の角度を調整し、ロックナットを固定します。



ご注意

◎落下防止のため、付属のネジセットで、本製品を壁や天井にしっかり固定してください。振動がなく、落下の危険がない安定した場所に取り付けてください。

◎アンテナやmicroSDカードを使用する場合は、本体を壁や天井に固定する前に取り付けてください。

※取り付けた後、パソコン、またはスマートフォン専用アプリを使用して、本製品の映像を確認されることをおすすめします。

1 ご使用になる前に

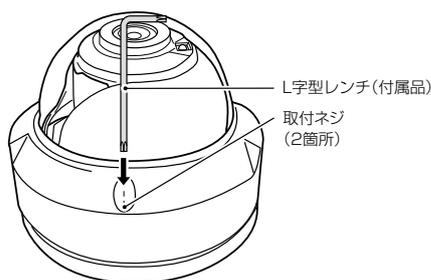
2. 接続や設置について

■ 本製品を固定するには(VE-CAM10D)

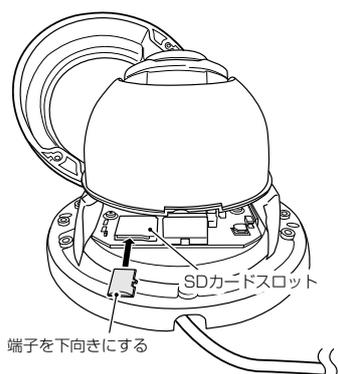
次の手順でVE-CAM10Dを取り付けます。

VE-CAM10Dの寸法図は、4-7ページをご覧ください。

- 1 L字型レンチ(付属品)で取付ネジを緩め、カバーを取りはずします。

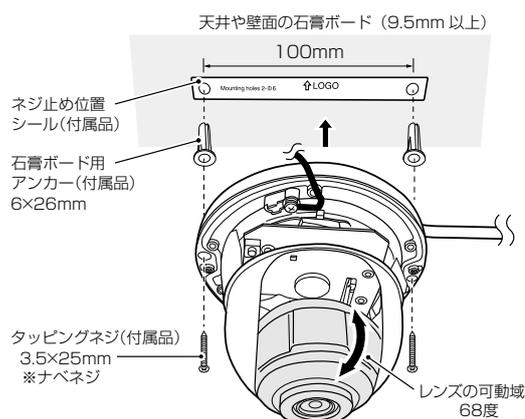


- 2 microSDカード(市販品)を挿入します。

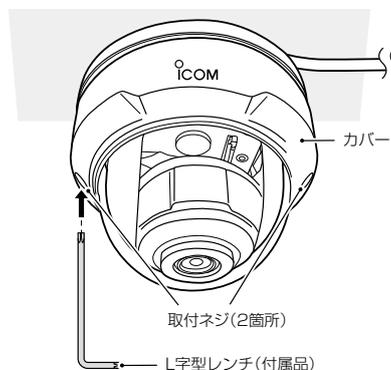


- 3 ネジ止め位置シール(付属品)を取付面に貼り、直径6mmの穴をドリルで2つ開けます。パソコン、またはスマートフォン専用アプリを使用し、本製品の映像を確認しながら設置場所を決めてください。

- 4 石膏ボード用アンカー(付属品)を穴に差し込み、タッピングネジ(付属品)で本製品本体を固定します。



- 5 レンズの角度を調整してから、カバーを取り付け、L字型レンチで取付ネジを締めます。



ご注意

- ◎落下防止のため、付属のネジセットで、本製品を壁や天井にしっかり固定してください。振動がなく、落下の危険がない安定した場所に取り付けてください。
 - ◎microSDカードを使用する場合は、本体を壁や天井に固定する前に取り付けてください。
 - ◎カバーに印字されたロゴ側にレンズの可動域がありますので、ロゴの位置を確認し、撮影したい方向に向けて固定してください。
 - ◎レンズの角度調整は手動です。調整するときは、本製品本体をしっかりと持ち、レンズをゆっくり動かしてください。
- ※カバーを取り付ける前にパソコン、またはスマートフォン専用アプリを使用して、本製品の映像を確認されることをおすすめします。

1 ご使用になる前に

2. 接続や設置について

■ 設置場所について

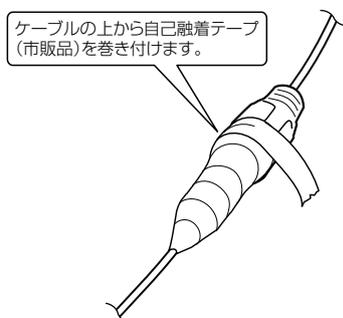
次の設置条件を考慮しないと、通信範囲や速度に影響します。

- ◎ 本製品と無線LAN機器の距離が近すぎると、データ通信でエラーが発生する場合があります。その場合は、本製品と無線LAN機器の距離を1m以上はなしてください。
- ◎ 振動や傾きがなく、落下の危険がない安定した場所に設置してください。
- ◎ 床にはふつう、鋼製の梁が入っており、金属製防火材が埋め込まれていることがあります。そのため多くの場合、異なる階に設置した無線LANとは通信できません。
- ◎ なるべく見通しのよい(高い)場所に設置してください。
- ◎ 本製品の上にものを置いたり、本製品同士やほかの製品と重ねて置いたりしないでください。
- ◎ 通信範囲はオープンスペースで最も広くなりますが、倉庫の中のように大きな金属製の壁などがあると、電波を反射することがあります。電波は壁やガラスをある程度通過しますが、金属は通過しません。コンクリートの壁でも、金属補強材が埋め込まれているため、電波を遮断するものがあります。ガラスの場合も、「熱線吸収ガラス」や「熱線反射ガラス」など、電波を遮断するものがあります。
- ◎ 無線通信距離は、設置場所や通信周波数によって異なりますが、屋内見通しで約30m、オープンスペースで約100mが目安です。

■ 防水処理について

屋外に設置したときなど、浸水防止のため、各ケーブルの接続部に防水処理をしてください。

※ 防水処理には、市販の自己融着テープなどをご用意ください。また、LANケーブル(市販品)は、抜け防止のため、ツメ折れ防止カバーの付いたものをおすすめします。



1 ご使用になる前に

2. 接続や設置について

■ アンテナの接続(VE-CAM10)

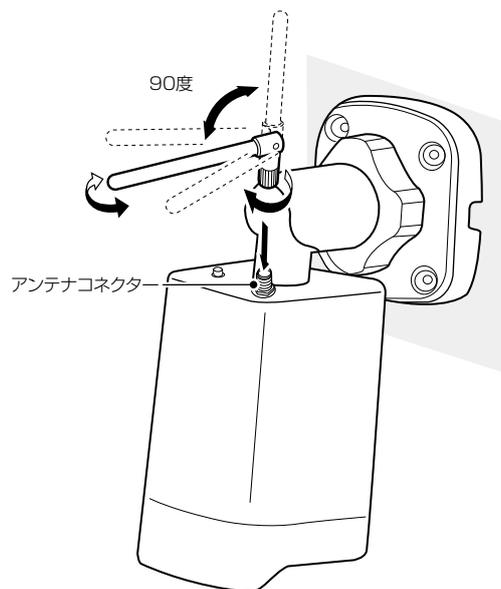
VE-CAM10にアンテナを取り付けるときは、アンテナの根元を右方向に手で締まる程度まで回します。

アンテナは、2段階の角度(45/90度)に折り曲げて使用できます。

また、折り曲げた状態で、左右に回転できます。

取りはずすときは、アンテナの根元を持って反時計回りに回します。

※電波状況が悪いと感じられたときは、アンテナの向き、または本製品の設置場所を変更してください。



ご注意

技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていますので、付属のアンテナ以外は使用できません。

1 ご使用になる前に

3. 導入のしかた

■ 設定に使うパソコンを接続する

本製品の電源を入れ、ランプの点灯を確認します。

起動が完了すると、ランプは消灯します。

※IPアドレスが取得できないなど、ネットワークに接続できない場合は、起動後、周期的な点滅がつづきます。

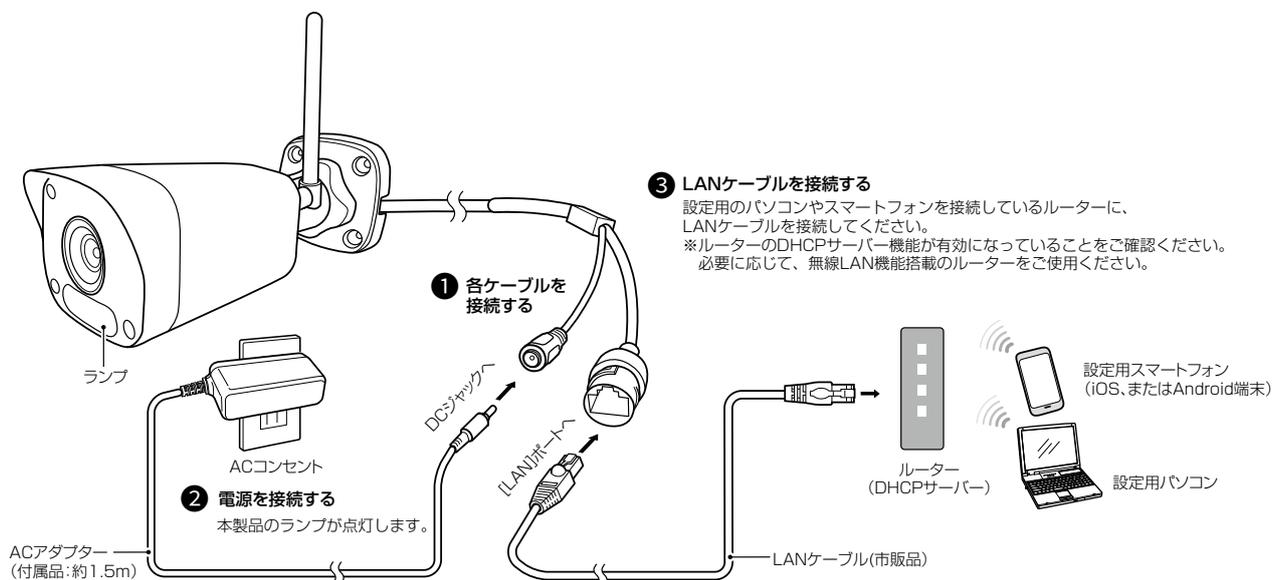
※ネットワークに接続したあとは、切断状態になってもランプは点滅しません。

※パソコン、またはスマートフォン専用アプリを使用して、本製品の設定をしてください。ソフトウェア、またはアプリの操作方法は、弊社ホームページに掲載の操作説明書をご覧ください。

※数日間テスト運用をして、正常に録画されるか確認することをおすすめします。

※本製品の各ケーブルを防水するための別売品はありません。

※屋外設置など防水処理には、市販の自己融着テープなどをご用意ください。また、LANケーブル(市販品)は、抜け防止のため、ツメ折れ防止カバーの付いたものをおすすめします。



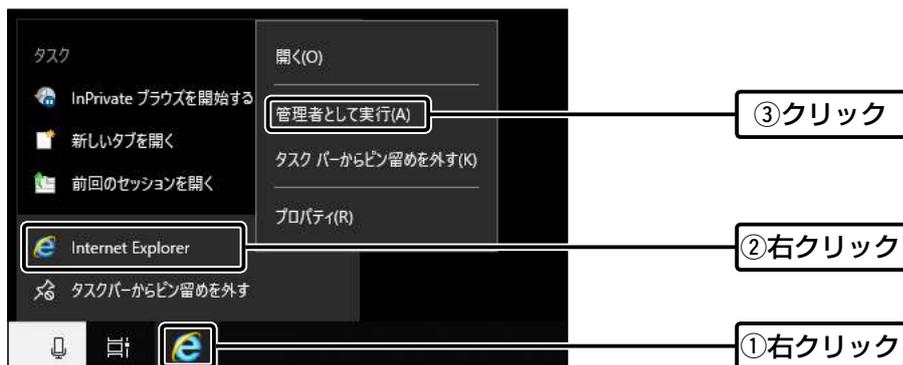
1 ご使用になる前に

3. 導入のしかた

■ 設定画面にアクセスするには(DHCPサーバーがないネットワークを使用する場合)

DHCPサーバーがない環境で、本製品に接続したパソコンのWWWブラウザから、本製品の設定画面にアクセスする手順について説明します。

- 1 WWWブラウザとして、Internet Explorerを起動します。
※起動するときは、下記のように「管理者として実行」を選択してください。

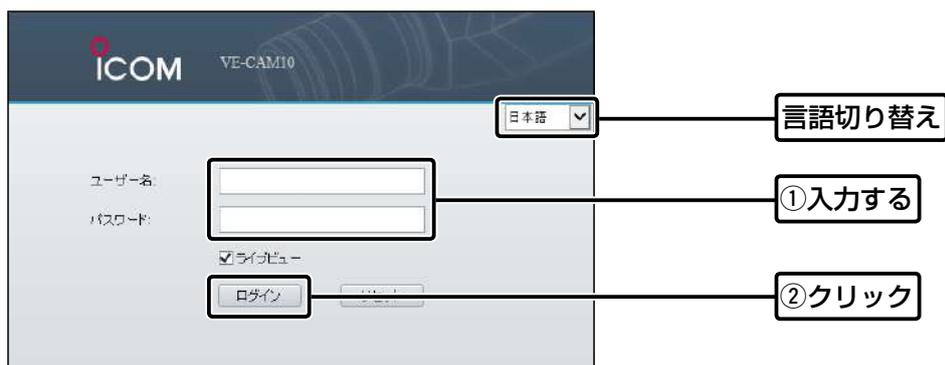


- 2 本製品に設定されたIPアドレスをWWWブラウザのアドレスバーに入力します。
出荷時、本製品のIPアドレスは、「192.168.0.1」に設定されています。



- 3 [Enter]キーを押します。
[ユーザー名]と[パスワード]の入力を求める画面が表示されます。

- 4 [ユーザー名]欄に「admin」、[パスワード]欄に「adminadmin」(初期設定)を入力し、〈ログイン〉をクリックします。
※言語を切り替える場合は、ログイン前に画面上部から言語を切り替えてください。



ご注意

Internet Explorerで設定画面にアクセスするときに、プラグインが必要になります。
ログイン後の画面上部に表示される「ダウンロード」をクリックして、プラグインをインストールしてください。

1 ご使用になる前に

3. 導入のしかた

■ 設定画面にアクセスするには(DHCPサーバーがあるネットワークを使用する場合)

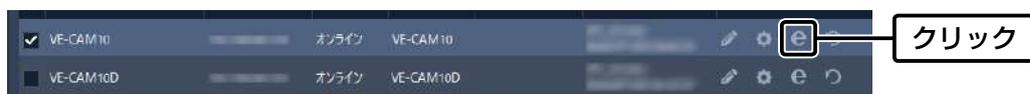
DHCPサーバーがある環境で、本製品に接続したパソコンのWWWブラウザから、本製品の設定画面にアクセスする手順について説明します。

1 「Guard Station」を起動します。

2 「デバイス管理」で本製品を登録し、[動作] 欄にある「e」をクリックします。

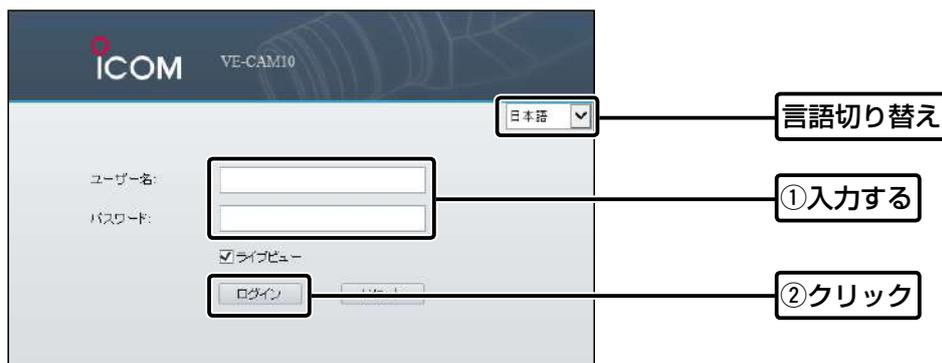
クリックすると、WWWブラウザが起動します。

※本製品の登録については、Guard Stationの操作説明書をご覧ください。



3 [ユーザー名] 欄に「admin」、[パスワード] 欄に「adminadmin」(初期設定)を入力し、〈ログイン〉をクリックします。

※言語を切り替える場合は、ログイン前に画面上部から言語を切り替えてください。



1 ご使用になる前に

3. 導入のしかた

■ パスワードを変更するときは

セキュリティ確保のため、必ず初期のパスワードから変更してください。

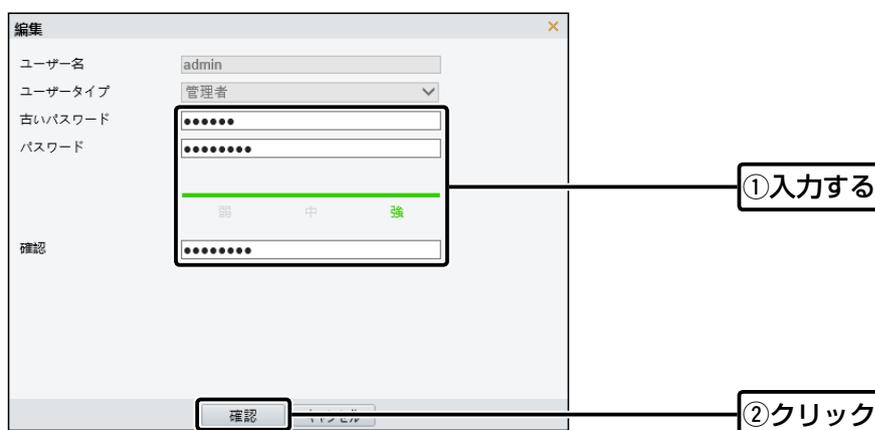
※IPアドレスと管理者パスワードが不明な場合などの初期化については、3-4ページをご覧ください。

- 1 画面に表示される「今すぐ変更」をクリックします。

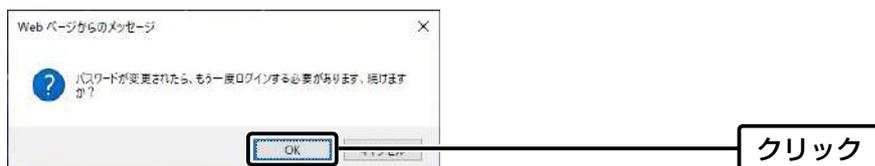


- 2 [古いパスワード]、[パスワード]、[確認]欄に、大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号(半角31文字以内)で入力し、〈確認〉をクリックします。

[古いパスワード]、[パスワード]、[確認]欄に入力した文字は、すべて*(アスタリスク)、または●(黒丸)で表示されます。



- 3 〈OK〉をクリックし、ログイン画面からログインします。



不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

1 ご使用になる前に

3. 導入のしかた

■ 本体IPアドレスを変更するときは

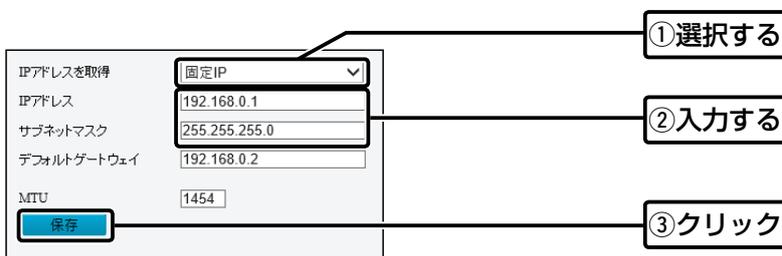
本製品のIPアドレスを変更するときは、既存のネットワークと重複しないように設定します。

- 1 「設定」をクリックします。



- 2 「ネットワーク」メニュー、「ネットワーク」の順にクリックします。

- 3 [IPアドレスを取得]欄で[固定IP]を選択し、[IPアドレス]項目、[サブネットマスク]項目の設定を変更して「保存」をクリックします。

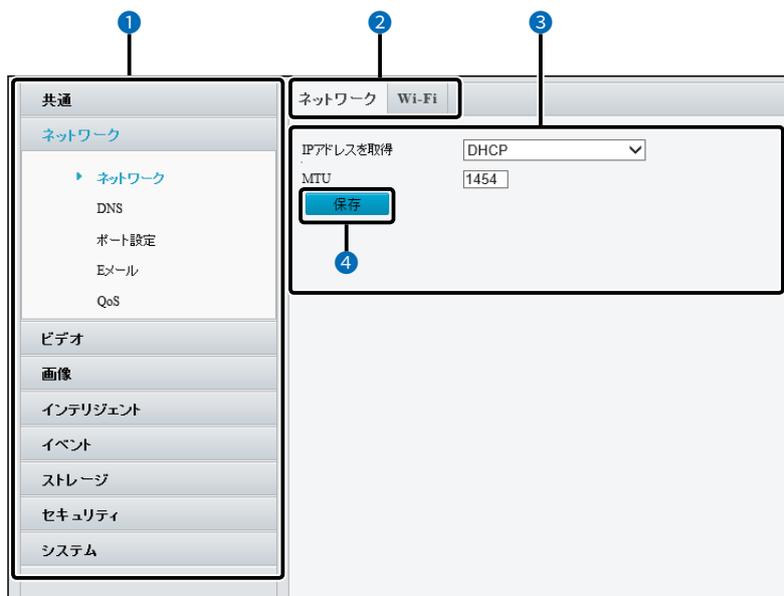


1 ご使用になる前に

3. 導入のしかた

■ 設定画面の名称と機能について

管理者用の設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。
設定画面の構成について詳しくは、4-3ページをご覧ください。



- ① 設定画面選択メニュー 各メニューのタイトル上にマウスポインターを合わせてクリックすると、そのメニュー項目名を表示します。
- ② 設定タブ [設定画面選択メニュー]で選択したメニュー項目名(例：ネットワーク/ネットワーク)をクリックすると、メニュー項目名に含まれるタブが表示します。
- ③ 設定画面表示エリア [設定画面選択メニュー]で選択したメニュー項目名(例：ネットワーク/ネットワーク)、または[設定タブ]で選択したタブ(例：ネットワーク)をクリックしたとき、その内容を表示します。
- ④ 設定ボタン 設定した内容の登録や取り消しをします。
※表示画面によって、表示されるボタンの種類や位置が異なります。

1 ご使用になる前に

4. 映像を確認する

- 1 「ライブビュー」をクリックします。



クリック

- 2 カメラの映像を確認します。
「ライブビュー」画面の説明については、2-4ページをご覧ください。



1 ご使用になる前に

5. 時間を設定する

本製品の内部時計の設定手順について説明します。

- 1 「設定」をクリックします。



- 2 「共通」メニュー、「時間」項目の順にクリックします。

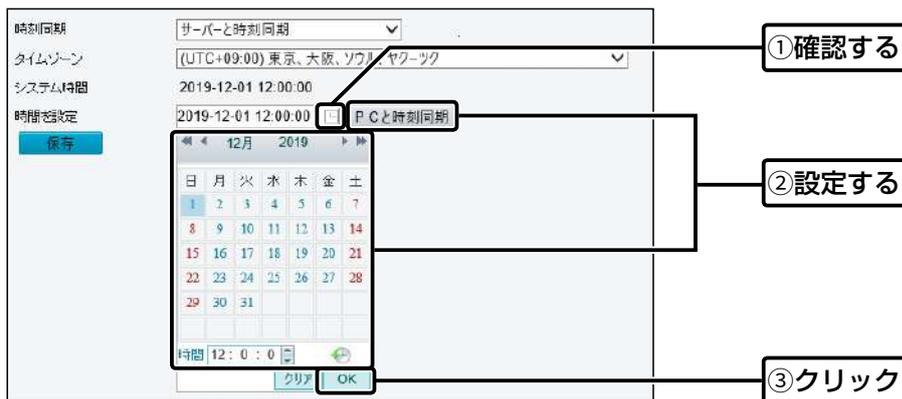
- 3 [システム時間] 欄の日時を確認します。

日時を変更する場合は、手順4に進みます。



- 4 [時間を設定] 欄にある「」をクリックして、日時を設定します。

〈PCと時刻同期〉をクリックすると、パソコンに設定されている日時と同期します。



- 5 〈保存〉をクリックします。

1 ご使用になる前に

6. ローカル録画をする

ローカル録画をする手順について説明します。

- 1 「設定」をクリックします。



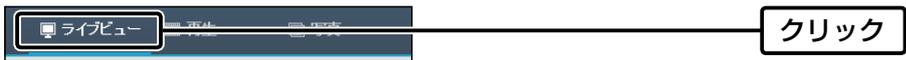
- 2 「共通」メニュー、「ローカルパラメーター」の順にクリックします。

- 3 録画の設定をします。

設定の説明については、2-12ページ～2-13ページをご覧ください。



- 4 「ライブビュー」をクリックします。



- 5 「REC」をクリックします。



- 6 録画中は画面左上に「REC」が点滅し、「REC」が「録」に変わります。

※録画を停止するときは、「録」をクリックします。



1 ご使用になる前に

7. 自動で録画する

本製品に microSD カードが挿入されている場合に自動で録画する手順について説明します。

■ 常時録画をする

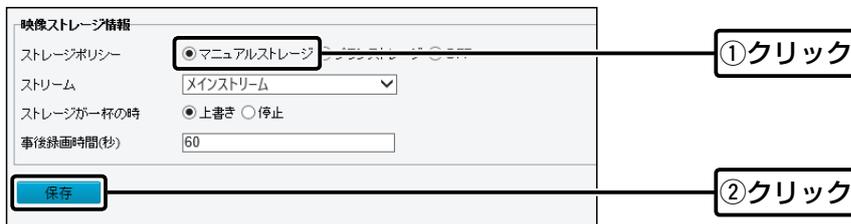
常に録画する手順について説明します。

- 1 「設定」をクリックします。



- 2 「ストレージ」メニュー、「ストレージ」画面の順にクリックします。

- 3 「ストレージポリシー」欄で「マニュアルストレージ」を選択して、「保存」をクリックします。



1 ご使用になる前に

7. 自動で録画する

■ スケジュール録画をする

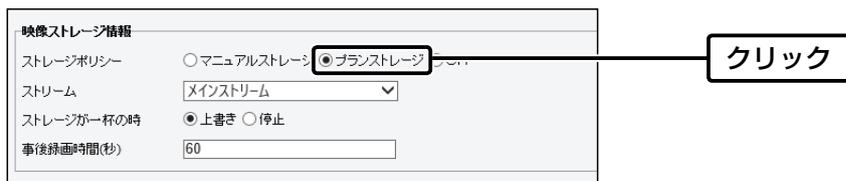
録画する期間を設定したい場合の手順について説明します。

- 1 「設定」をクリックします。

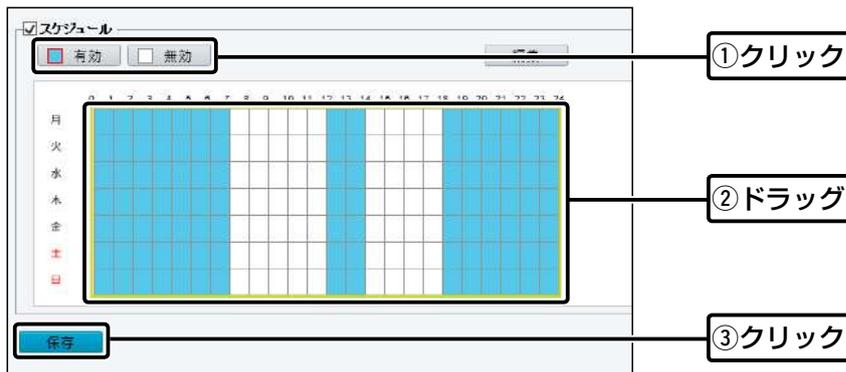


- 2 「ストレージ」メニュー、「ストレージ」画面の順にクリックします。

- 3 [ストレージポリシー]欄で「プランストレージ」を選択します。



- 4 [スケジュール]欄の〈有効〉、または〈無効〉をクリックし、枠内をドラッグしてスケジュール録画をする時間と曜日を設定します。



1 ご使用になる前に

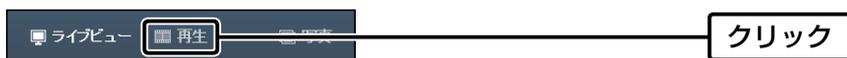
8. 録画を再生する

microSDカードに保存されている録画ファイルを再生します。

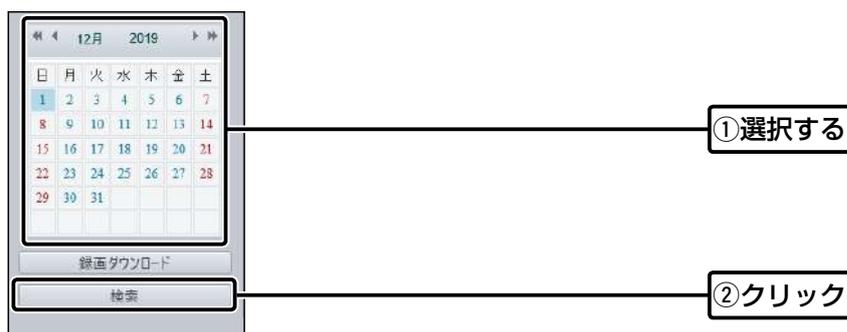
※microSDカードに保存されている録画ファイルをパソコンに保存する場合は、「再生」画面にある〈録画ダウンロード〉からパソコンへ保存してください。

microSDカードから直接パソコンに録画ファイルを保存しても、再生できません。

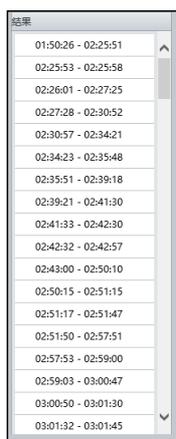
1 「再生」をクリックします。



2 確認したい年月日を選択して〈検索〉をクリックします。



3 検索結果が[結果]欄に表示されます。



4 表示されているファイルをダブルクリックすると、再生されます。



この章では、
各メニューで表示される設定画面について説明します。

「ライブビュー」画面	2-4
■ ステータスバー	2-5
■ ツールバー	2-5
「再生」画面	2-6
■ 録画ダウンロード	2-7
「写真」画面	2-8

共通

「基本情報」画面	2-9
■ 基本情報	2-9
■ 状態	2-9
■ 共通設定	2-10
「ローカルパラメータ」画面	2-11
■ ビデオパラメータ	2-11
■ 録画・スナップショット	2-12
「ネットワーク」画面	2-14
■ 「ネットワーク」タブ	2-14
「時間」画面	2-15
■ 「時間」タブ	2-15
■ NTPサーバー	2-16
■ サマータイム	2-16
「OSD」画面	2-17
■ 「OSD」タブ	2-17
■ 表示形式	2-18
「ユーザー」画面	2-19
■ 「ユーザー」タブ	2-19
■ 編集	2-20

2 設定画面について

下記は、前ページからの「つづき」です。

ネットワーク

「ネットワーク」画面	2-21
■ 「ネットワーク」タブ	2-21
■ 「Wi-Fi」タブ	2-22
■ ネットワーク状態	2-22
■ Wi-Fiネットワーク	2-23
■ Wi-Fi	2-24
「DNS」画面	2-26
■ 「DNS」タブ	2-26
「ポート設定」画面	2-27
■ 「ポート」タブ	2-27
■ 「ポートマッピング」タブ	2-28
「Eメール」画面	2-29
■ 送信者	2-29
■ 受信者	2-30
「QoS」画面	2-31
■ 「QoS」タブ	2-31

ビデオ

「ビデオ」画面	2-32
■ 「ビデオ」タブ	2-32
■ メインストリーム/サブストリーム/サードストリーム	2-33
「スナップショット」画面	2-35
■ 「スナップショット」タブ	2-35
■ スナップショットスケジュール	2-36
「ROI」画面	2-37
■ 「ROI」タブ	2-37
「メディアストリーム」画面	2-38
■ 「メディアストリーム」タブ	2-38
■ メディアストリーム追加	2-39
■ 「RTSPマルチキャストアドレス」タブ	2-40

画像

「画像」画面	2-41
■ シーン	2-41
■ 画像補正	2-42
■ 露出	2-43
■ スマート照明	2-47
■ ホワイトバランス	2-48
■ 拡張設定	2-49
「OSD」画面	2-50
■ 「OSD」タブ	2-50
「プライバシーマスク」画面	2-51
■ 「プライバシーマスク」タブ	2-51

2 設定画面について

下記は、前ページからの「つづき」です。

インテリジェント

「侵入」画面	2-52
■ 「侵入」タブ	2-52
■ 連動動作	2-53
■ スケジュール	2-53
■ 編集	2-54

イベント

「標準アラーム」画面	2-55
■ 「動体検知」タブ	2-55
■ アラームパラメータ	2-56
■ トリガー動作	2-57
■ スケジュール	2-57
■ 「タンパリング」タブ	2-58
■ トリガー動作	2-58
■ スケジュール	2-58

ストレージ

「ストレージ」画面	2-59
■ 「ストレージ」タブ	2-59
■ 容量割り当て	2-59
■ 映像ストレージ情報	2-60
■ プラン	2-61
「FTP」画面	2-62
■ サーバーパラメーター	2-62
■ スナップショットイメージ	2-63

セキュリティ

「ユーザー」画面	2-64
■ 「ユーザー」タブ	2-64
「ネットワークセキュリティ」画面	2-65
■ 「HTTPS」タブ	2-65
■ 「認証方式」タブ	2-65
■ 「ARP保護」タブ	2-66
■ 「IPアドレスフィルタリング」タブ	2-67
■ 「アクセス方式」タブ	2-68
「登録情報」画面	2-69
■ 「登録情報」タブ	2-69

システム

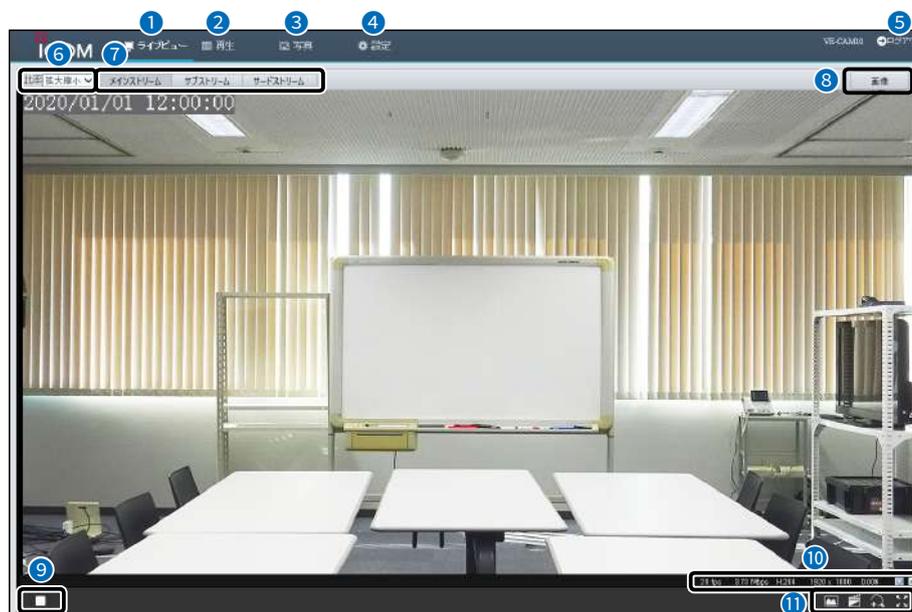
「時間」画面	2-70
■ 「時間」タブ	2-70
■ サマータイム	2-70
「メンテナンス」画面	2-71
■ ファームウェア	2-71
■ システム設定	2-72
■ 診断情報	2-73
■ デバイス再起動	2-73

2 設定画面について

「ライブビュー」画面

カメラの映像を確認できます。

※確認するには、下記の数字部分をクリックします。



- | | |
|---|---|
| ① ライブビュー | 「ライブビュー」画面を表示します。 |
| ② 再生 | 「再生」画面を表示します。(P.2-6) |
| ③ 写真 | 「写真」画面を表示します。(P.2-8) |
| ④ 設定 | 設定画面を表示します。(P.2-9) |
| ⑤ ログアウト | ログイン画面を表示します。 |
| ⑥ 比率 | 「ライブビュー」画面に表示されるカメラの縦横比を設定します。 |
| ⑦ <メインストリーム>/
<サブストリーム>/
<サードストリーム> | ストリーム配信や録画する条件の設定です。
ストリームの設定については、2-33ページをご覧ください。 |
| ⑧ <画像> | 設定画面の「画像」画面(P.2-41)を表示します。 |
| ⑨ 再生/停止 | クリックするごとに、カメラ映像の「ライブビュー」画面への表示と非表示を切り替えます。 |
| ⑩ ステータスバー | 表示されている映像の情報を表示します。(P.2-5) |
| ⑪ ツールバー | 映像を撮影、録画、ズームなどの操作をします。(P.2-5) |

2 設定画面について

「ライブビュー」画面

■ ステータスバー



- ① ステータス 左から、フレームレート(fps)、ビットレート(Kbps)、ビデオ圧縮形式、解像度(H.265、H.264、MJPEG)、パケットロス率(%)が表示されます。
- ② パケットロス率リセット パケットロス率をリセットします。
- ③ ステータスバー固定 ステータスバーを固定します。

■ ツールバー

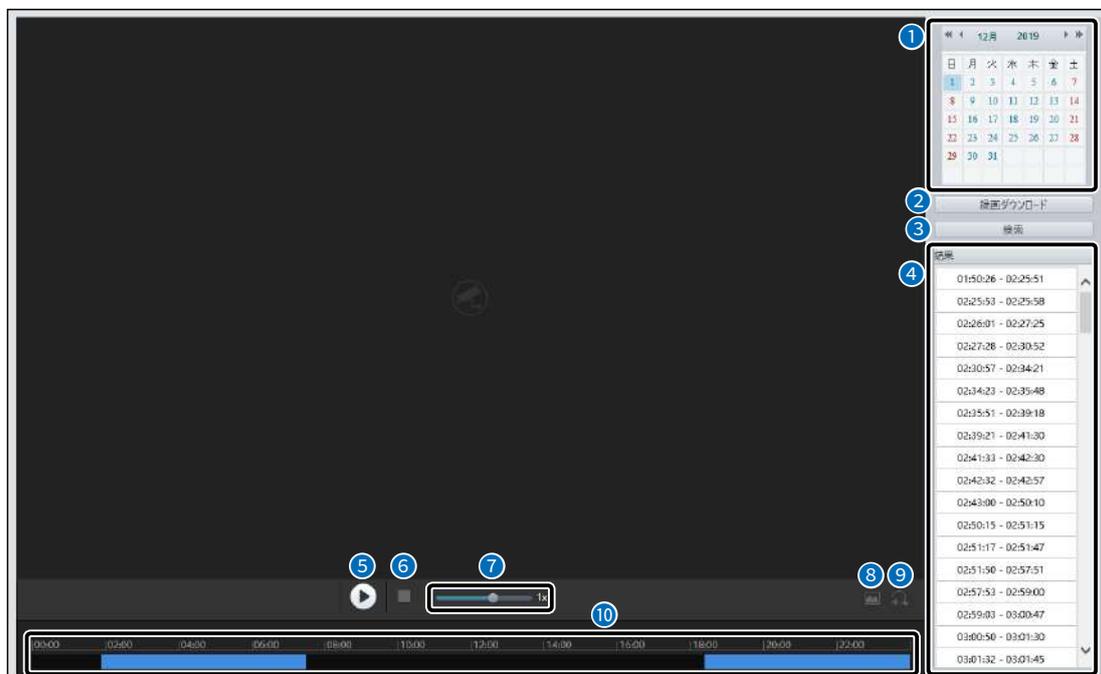


- ① スナップショット クリックしたときの映像がパソコンに保存されます。
- ② パソコンへの録画開始 クリックすることにより、映像の録画と停止を切り替えます。
- ③ デジタルズームを有効/無効 クリックすることにより、ズームの有効と無効を切り替えます。
- ④ 全画面表示 「ライブビュー」画面を画面全体に表示します。

2 設定画面について

「再生」画面

microSDカードに保存されている録画映像を再生します。



- ① カレンダー 確認する録画映像の日付をクリックします。
- ② 〈録画ダウンロード〉 microSDカードに保存されている録画ファイルをパソコンにコピーします。(P.2-7)
- ③ 〈検索〉 クリックすると、[カレンダー] (①) 欄で指定した日付の録画ファイルを検索します。
- ④ 結果 クリックすると、[カレンダー] (①) 欄で指定した日付の録画ファイルだけが表示されます。
そのファイルをダブルクリックすると、録画ファイルが再生されます。
- ⑤ 再生/一時停止 クリックごとに、録画映像の再生と一時停止を切り替えます。
- ⑥ 停止 録画映像の再生を停止します。
- ⑦ 再生速度 録画映像の再生速度を変更します。
- ⑧ スナップショット 再生中にクリックした録画映像の1コマをパソコンに保存します。
- ⑨ デジタルズームを有効 クリックすることにより、デジタルズームの有効と無効を切り替えます。
- ⑩ 再生スクロールバー クリックした位置から録画映像の再生を開始します。

2 設定画面について

「再生」画面

■ 録画ダウンロード

microSDカードに保存されている録画ファイルをパソコンへコピーします。

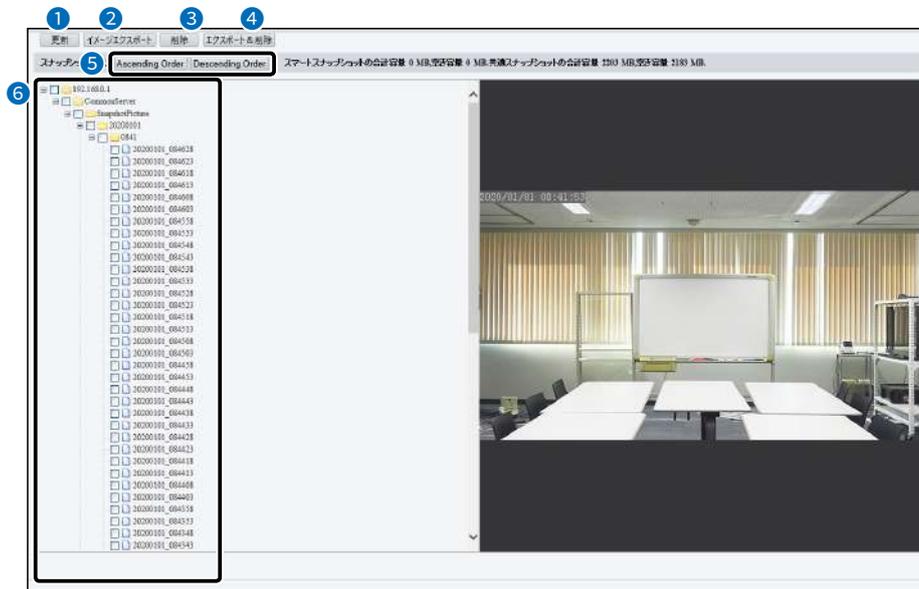


- ① 録画時間 保存する録画ファイルの日付を選択します。
〈検索〉をクリックすると、指定した日付の録画ファイルを検索します。
- ② 録画ダウンロード 録画ファイルをコピーするフォルダを選択します。
〈選択〉をクリックして、表示された画面で録画ファイルを保存するフォルダを選択します。
- ③ 録画リスト 保存する録画ファイルを選択します。
- ④ 〈ダウンロード〉 クリックすると、[録画リスト](③)欄で選択した録画ファイル(拡張子：ts)が保存されます。

2 設定画面について

「写真」画面

microSDカードに保存されているスナップショットの確認やパソコンに保存します。



- ① <更新> [スナップショットリスト] (⑥) 欄を最新の状態にするボタンです。
- ② <イメージエクスポート> [スナップショットリスト] (⑥) 欄でチェックマークを入れたスナップショットをパソコンへ保存するボタンです。
- ③ <削除> [スナップショットリスト] (⑥) 欄でチェックマークを入れたスナップショットを削除するボタンです。
- ④ <エクスポート&削除> [スナップショットリスト] (⑥) 欄でチェックマークを入れたスナップショットをパソコンへ移動して、microSDカードから削除するボタンです。
- ⑤ <Ascending Order>/
<Descending Order> 保存されているスナップショットの昇順と降順を選択するボタンです。
- ⑥ スナップショットリスト microSDカードに保存されているスナップショットが表示されます。ファイルをクリックすると、スナップショットの写真を確認できます。

2 設定画面について

「基本情報」画面

共通 > 基本情報 > 基本情報

■ 基本情報

型番、ファームウェアのバージョン情報などが表示されます。

基本情報	
型番	VE-CAM10
ファームウェアバージョン	00_00000000000000000000000000000000
ハードウェアバージョン	0
ブートバージョン	0000
シリアル番号	00000000000000000000000000000000
ネットワーク	192.168.0.1/255.255.255.0/192.168.0.2

■ 状態

本製品の内部時計と稼働時間が表示されます。

状態	
システム時間	2020/1/1 12:00:00
稼働時間	0日 7時 2分
<input type="button" value="更新"/>	

2 設定画面について

「基本情報」画面

共通 > 基本情報 > 基本情報

■ 共通設定

各アイコンをクリックすると、「共通」メニューにある設定画面に移動します。



- | | |
|----------------|---------------------------|
| ① ネットワーク | 「ネットワーク」画面に移動します。(P.2-14) |
| ② 時間 | 「時間」画面に移動します。(P.2-15) |
| ③ OSD | 「OSD」画面に移動します。(P.2-17) |
| ④ ユーザー | 「ユーザー」画面に移動します。(P.2-19) |

2 設定画面について

「ローカルパラメータ」画面

共通 > ローカルパラメータ

■ ビデオパラメータ

映像の画質、遅延、配信時のプロトコルについての設定です。

ビデオパラメータ	
1 処理モード	なめらかさ優先
2 プロトコル	TCP

- 1 処理モード 映像画質と映像遅延の設定です。
- ◎リアルタイム優先
映像を遅延なく映します。
 - ◎なめらかさ優先
映像がなめらかな処理で映します。
 - ◎超低遅延
映像の遅延を抑えて映します。
- 2 プロトコル 使用ネットワーク環境やポリシーなどの理由に応じて、送信プロトコルを設定します。

2 設定画面について

「ローカルパラメータ」画面

共通 > ローカルパラメータ

■ 録画・スナップショット

録画映像の録画や画像の保存についての設定です。

時間分割設定時

録画・スナップショット

1 録画	時間分割
2 分割時間(分)	30
3 録画容量不足の場合	<input checked="" type="radio"/> 上書き <input type="radio"/> 録画停止
4 総容量(GB)	10
5 ローカル録画	TS
6 フォルダ	C:\Surveillance_IPC\IPCUI 選択 閉く
7 保存	

※ 上図は、[録画] (1) 欄で「時間分割」を選択したときの画面です。

サイズ分割設定時

録画・スナップショット

1 録画	サイズ分割
3 分割サイズ(MB)	100

※ 上図は、[録画] (1) 欄で「サイズ分割」を選択したときの画面です。

- 1 録画 録画ファイルの分割方法を設定します。
- 時間分割
設定した時間ごとに録画ファイルを保存します。
 - サイズ分割
設定したサイズごとに録画ファイルを保存します。
- 2 分割時間(分) 1つの録画ファイルにつき何分まで保存するか設定します。
- 3 録画容量不足の場合 [総容量(GB)] (4) 欄で設定した容量を超えた場合の録画処理について設定します。
- 上書き
既存の録画ファイルを削除して、新しい録画ファイル用の容量を作ります。
 - 録画停止
録画を停止します。

2 設定画面について

「ローカルパラメータ」画面

共通 > ローカルパラメータ

■ 録画・スナップショット(つづき)

時間分割設定時

録画・スナップショット

1 録画	時間分割
2 分割時間(分)	30
3 録画容量不足の場合	<input checked="" type="radio"/> 上書き <input type="radio"/> 録画停止
4 総容量(GB)	10
5 ローカル録画	TS
6 フォルダ	C:\Surveillance_IPC\IPC1 <input type="button" value="選択"/> <input type="button" value="開く"/>
7	<input type="button" value="保存"/>

※ 上図は、[録画] (1) 欄で「時間分割」を選択したときの画面です。

サイズ分割設定時

録画・スナップショット

1 録画	サイズ分割
8 分割サイズ(MB)	100

※ 上図は、[録画] (1) 欄で「サイズ分割」を選択したときの画面です。

- 4 総容量(GB) [フォルダ] (6) 欄で設定したフォルダーに保存するファイルの総容量を設定します。
- 5 ローカル録画 録画ファイルの保存形式が表示されます。
- 6 フォルダ 録画を保存する場所を設定します。
<選択>をクリックして、保存する場所を選択します。
<開く>をクリックすると、テキストボックスに表示されているフォルダーを開きます。
- 7 <保存> 「ローカルパラメータ」画面で設定した内容を保存します。
- 8 分割サイズ(MB) 1つの録画ファイルにつきどのぐらいのサイズを保存するかを設定します。

2 設定画面について

「ネットワーク」画面

共通 > ネットワーク

■ 「ネットワーク」タブ

本製品のIPアドレスなどの通信設定を変更します。

※ [アドレスを取得] (①)欄を「固定IP」に設定した画面を例に説明しています。

※ 「ネットワーク」メニューの「ネットワーク」画面にある「ネットワーク」タブと同じ設定項目です。

① IPアドレスを取得	固定IP
② IPアドレス	192.168.0.1
③ サブネットマスク	255.255.255.0
④ デフォルトゲートウェイ	192.168.0.2
⑤ MTU	1454
⑥ 保存	

- ① IPアドレスを取得 IPアドレスの取得方法を設定します。
- ◎ 固定IP
DHCPサーバーから取得しないとき、[IPアドレス](②)欄で入力したIPアドレスを使用します。
 - ◎ DHCP
IPアドレスをDHCPサーバーから自動取得します。
- ② IPアドレス 本製品のIPアドレスを入力します。
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。
※ [IPアドレスを取得] (①)欄を「固定IP」に設定している場合のみ設定できます。
- ③ サブネットマスク 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。
※ 本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。
※ [IPアドレスを取得] (①)欄を「固定IP」に設定している場合のみ設定できます。
- ④ デフォルトゲートウェイ 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※ 本製品と同じIPアドレスは登録できません。
※ [IPアドレスを取得] (①)欄を「固定IP」に設定している場合のみ設定できます。
- ⑤ MTU ネットワークを通じて送信するフレームサイズの上限を設定します。
- ⑥ <保存> 「ネットワーク」タブで設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「時間」画面

共通 > 時間 > 時間

■ 「時間」タブ

本製品の内部時計を設定します。

※「システム」メニューの「時間」画面にある「時間」タブと同じ設定項目です。

1 時刻同期	サーバーと時刻同期
2 タイムゾーン	(UTC+09:00) 東京、大阪、ヤクーツク
3 システム時間	2019-12-01 12:00:00
4 時間を設定	2019-12-01 12:00:00 [PCと時刻同期]
5	保存

- 1 時刻同期 時刻を同期する方法を選択します。
- ◎システム設定と同期
[時間を設定] (4) 欄で設定した時刻と同期します。
 - ◎NTPサーバーと同期
NTPサーバーの時刻と同期します。
 - ◎マネジメントサーバーと同期(ONVIF)
管理サーバーの時刻と同期します。
 - ◎サーバーと時刻同期
管理しているNVRの時刻と同期します。
- 2 タイムゾーン 本製品の内部時計で使用するタイムゾーンを設定します。
- 3 システム時間 本製品に設定されている時刻が表示されます。
- 4 時間を設定 本製品の内部時刻を設定します。
〈PCと時刻同期〉をクリックすると、パソコンに設定されている時刻と同期します。
※ [時刻同期] (1) 欄を「サーバーと時刻同期」、または「システム設定と同期」に設定している場合のみ設定できます。
- 5 〈保存〉 「時間」タブで設定した内容を保存します。

2 設定画面について

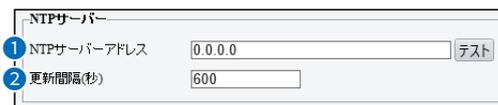
「時間」画面

共通 > 時間 > 時間

■ NTPサーバー

[時刻同期] 欄を「NTPサーバーと同期」に選択したときに、表示されます。

※「システム」メニューの「時間」画面にある「時間」タブと同じ設定項目です。



- ① NTPサーバーアドレス …………… NTPサーバーのアドレスを設定します。
〈テスト〉をクリックすると、設定したNTPサーバーに接続できるかテストします。
- ② 更新間隔(秒) …………… NTPサーバーと同期する間隔を設定します。

共通 > 時間 > サマータイム

■ サマータイム

設定した期間内だけ時刻を進めます。

※「システム」メニューの「時間」画面にある「時間」タブと同じ設定項目です。



- ① サマータイム …………… サマータイム機能をON/OFFします。
- ② 開始時刻 …………… サマータイム機能を開始する日時を設定します。
※ [サマータイム] (①) 欄を「ON」に設定しているときだけ設定できます。
- ③ 終了時刻 …………… サマータイム機能を終了する日時を設定します。
※ [サマータイム] (①) 欄を「ON」に設定しているときだけ設定できます。
- ④ サマータイム調整 …………… 本製品の内部時計からどのくらい進めるかを設定します。
※ [サマータイム] (①) 欄を「ON」に設定しているときだけ設定できます。
- ⑤ 〈保存〉 …………… [サマータイム]項目で設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「OSD」画面

共通 > OSD

■ 「OSD」タブ

映像に表示されるテキストの位置と種類を選択します。

※「画像」メニューの「OSD」画面にある「ライブビュー」タブと同じ設定項目です。



- ① 有効 チェックマークを入れると、設定している OSD を映像に表示させます。
左の映像から、設定している OSD の位置を変更できます。
- ② 番号 設定している OSD の番号が表示されます。
- ③ オーバーレイ OSD 映像に表示させるテキストを設定します。
「カスタム」を選択すると、入力した文字が表示されます。
- ④ X 軸 映像に表示させるテキストの X 軸の位置を設定します。
- ⑤ Y 軸 映像に表示させるテキストの Y 軸の位置を設定します。

2 設定画面について

「OSD」画面

共通 > OSD

■ 表示形式

※「画像」メニューの「OSD」画面にある「ライブビュー」タブと同じ設定項目です。

表示形式	
① 効果	背景付き
② フォントサイズ	中
③ 最小マージン	なし
④ 日付形式	YYYY/MM/DD
⑤ 時刻形式	HH:mm:ss

DD=日; DDDD=曜日; MM=月; YYYY=年
h/H=12/24時; tt=A.M./P.M.; mm=分; ss=秒

① 効果 表示させる OSD の背景について設定します。

◎ 背景付き

OSD に背景をつけて表示します。

◎ ノーマル

OSD に背景をつけずに表示します。

② フォントサイズ 映像に表示させる項目の文字サイズを設定します。

③ 最小マージン 画面の余白を設定します。

◎ 半角

画面と OSD の余白を半角あけます。

◎ 全角

画面と OSD の余白を全角あけます。

◎ なし

画面と OSD の余白をあけません。

④ 日付形式 映像に表示する日付の形式を設定します。

⑤ 時刻形式 映像に表示する時刻の形式を設定します。

2 設定画面について

「ユーザー」画面

共通 > ユーザー

■ 「ユーザー」タブ

ユーザーの追加や削除、パスワードの変更をします。

※「セキュリティ」メニューの「ユーザー」画面にある「ユーザー」タブと同じ設定項目です。



番号	ユーザー名	ユーザータイプ
1	admin	管理者

- ① 〈追加〉 本製品にログインできるユーザーを追加します。
※追加したユーザーでログインする場合、一部表示されない画面や設定項目があります。
- ② 〈編集〉 選択したユーザーのパスワードを変更します。(P.2-20)
- ③ 〈削除〉 登録した内容を取り消すときは、該当する欄を選択して、〈削除〉をクリックします。
※「ユーザータイプ」欄が「管理者」のユーザーを取り消すことはできません。

不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

ご注意

管理者パスワードを忘れた場合、設定画面にアクセスするには、工場出荷時(初期値)の状態に戻す必要があります。

※初期化するときは、3-4ページにしたがって、本製品の〈RESET〉ボタンを操作してください。

2 設定画面について

「ユーザー」画面

共通 > ユーザー

■ 編集

ユーザーのパスワードを変更します。

「ユーザー」タブにある「編集」(P.2-19)をクリックしたときに表示される画面です。

編集

1 ユーザー名 admin

2 ユーザータイプ 管理者

3 古いパスワード

4 パスワード

5 確認

6 確認

7 キャンセル

- 1 ユーザー名 パスワードを変更するユーザー名が表示されます。
- 2 ユーザータイプ 編集しているユーザーのタイプが表示されます。
※ユーザータイプが「一般ユーザー」でログインした場合は、一部の機能や設定項目が表示されません。
- 3 古いパスワード 現在のパスワードを入力します。
- 4 パスワード 新しいパスワードを入力します。
- 5 確認 [パスワード] (4) 欄で入力したパスワードを入力します。
- 6 <確認> [編集] 項目内で設定した内容を登録します。
- 7 <キャンセル> [編集] 項目の設定内容を登録せずに、[編集] 項目を閉じるボタンです。

2 設定画面について

「ネットワーク」画面

ネットワーク > ネットワーク > ネットワーク

■ 「ネットワーク」タブ

本製品のIPアドレスなどの通信設定を変更します。

※「共通」メニューの「ネットワーク」画面にある「ネットワーク」タブと同じ設定項目です。

設定の説明については、2-14ページをご覧ください。

IPアドレスを取得	<input type="text" value="固定IP"/>
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.0.2"/>
MTU	<input type="text" value="1454"/>
<input type="button" value="保存"/>	

2 設定画面について

「ネットワーク」画面

ネットワーク > ネットワーク > Wi-Fi

■ 「Wi-Fi」タブ

Wi-Fiモードや適応ストリーム機能の設定です。



- ① Wi-Fiモード Wi-Fiモードを選択します。
- ② 適応ストリーム 適応ストリーム機能をON/OFFします。
「ON」に設定すると、回線速度に応じてビットレートを変更します。
※ [Wi-Fiモード] (①) 欄で「Wi-Fi」を設定した場合のみ設定できます。
- ③ 〈保存〉 「Wi-Fi」タブで設定した内容を保存します。

■ ネットワーク状態

本製品に接続しているネットワークの状態を表示します。

※ 「Wi-Fi」タブの「Wi-Fiモード」欄を「Wi-Fi」に設定したときだけ表示されます。

ネットワーク状態	
状態	切断
SSID	なし
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
信号強度	📶

2 設定画面について

「ネットワーク」画面

ネットワーク > ネットワーク > Wi-Fi

■ Wi-Fiネットワーク

付近にある無線アクセスポイントが表示されます。

表示されている無線アクセスポイントをクリックすると、[Wi-Fi]項目に[パスワード]欄以外の項目が自動で入力されます。

※[Wi-Fi]タブの[Wi-Fiモード]欄(P.2-22)を「Wi-Fi」に設定したときだけ表示されます。



- ① 〈検索〉 クリックすると、付近にある無線アクセスポイントを検索します。
- ② SSID 無線アクセスポイントに設定されたSSIDを表示します。
- ③ チャンネル 接続されているチャンネルを表示します。
- ④ MACアドレス 無線アクセスポイントに設定されているMACアドレスを表示します。
- ⑤ 認証 無線アクセスポイントに設定している認証方式を表示します。
- ⑥ 暗号化 無線アクセスポイントに設定している暗号方式を表示します。
- ⑦ 信号強度 無線アクセスポイントの信号強度を6段階で表示します。
- ⑧ 信号強度(dBm) 無線アクセスポイントの信号強度を数値で表示します。

2 設定画面について

「ネットワーク」画面

ネットワーク > ネットワーク > Wi-Fi

■ Wi-Fi

本製品に接続する無線アクセスポイントを設定します。

※説明のため、[認証] (4) 欄を「SHARED」、[IPアドレスを取得] (5) 欄を「固定IP」に設定した画面を使用しています。

※「Wi-Fi」タブの「Wi-Fiモード」欄(P.2-22)を「Wi-Fi」に設定した場合のみ表示されます。

Wi-Fi	
1 SSID	<input type="text"/>
2 パスワード	<input type="password"/>
3 暗号化	なし
4 認証	SHARED
5 IPアドレスを取得	固定IP
6 IPアドレス	<input type="text"/>
7 サブネットマスク	<input type="text"/>
8 デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>

- 1 SSID 無線アクセスポイントに設定されたSSIDを入力します。
- 2 パスワード 無線アクセスポイントに設定されたパスワード(無線LANの暗号キー)を入力します。
※ [認証] (4) 欄で「OPEN」に設定した場合は、表示されません。
- 3 暗号化 無線アクセスポイントに設定された無線伝送データを暗号化する方式を「なし」、「WEP」、「AES★」、「TKIP★」、「AES/TKIP★」から選択します。
★ [認証] (4) 欄で「OPEN」に設定した場合は、表示されません。
- 4 認証 無線アクセスポイントに設定された認証方式を「OPEN」、「SHARED」、「WPA-PSK/WPA2-PSK」から選択します。
- 5 IPアドレスを取得 本製品のIPアドレスを取得する方法を設定します。
- ◎固定IP
DHCPサーバーから取得しないとき、[IPアドレス](6) 欄で入力したIPアドレスを使用します。
- ◎DHCP
本製品のIPアドレスをDHCPサーバーから自動取得します。

2 設定画面について

「ネットワーク」画面

ネットワーク > ネットワーク > Wi-Fi

■ Wi-Fi(つづき)

※説明のため、[認証] (4) 欄を「SHARED」、[IPアドレスを取得] (5) 欄を「固定IP」に設定した画面を使用しています。

※「Wi-Fi」タブの[Wi-Fiモード] 欄(P.2-22)を「Wi-Fi」に設定した場合のみ表示されます。

Wi-Fi	
1 SSID	<input type="text"/>
2 パスワード	<input type="password"/>
3 暗号化	なし
4 認証	SHARED
5 IPアドレスを取得	固定IP
6 IPアドレス	<input type="text"/>
7 サブネットマスク	<input type="text"/>
8 デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>

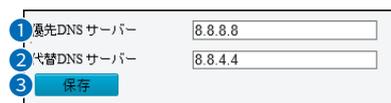
- 6 IPアドレス 本製品のIPアドレスを入力します。
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。
※「ネットワーク」タブにある[IPアドレス]欄(P.2-14)で設定したIPアドレスと同じIPアドレスを設定した場合は、設定内容が保存されません。
- 7 サブネットマスク 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。
※本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。
- 8 デフォルトゲートウェイ 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※本製品と同じIPアドレスは登録できません。

2 設定画面について

「DNS」画面

ネットワーク > DNS

■ 「DNS」タブ



The screenshot shows a configuration window with three numbered items: 1. '優先DNSサーバー' (Priority DNS Server) with the value '8.8.8.8'. 2. '代替DNSサーバー' (Alternative DNS Server) with the value '8.8.4.4'. 3. A blue '保存' (Save) button.

- ① 優先DNSサーバー 本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
- ② 代替DNSサーバー [優先DNSサーバー](①)欄で設定したDNSサーバーにアクセスできない場合、次にアクセスするDNSサーバーを入力します。
- ③ <保存> 「DNS」画面で設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「ポート設定」画面

ネットワーク > ポート設定

■ 「ポート」タブ

※ [HTTPポート] (①) 欄～[RTSPポート] (③) 欄で設定するポート番号がそれぞれ重複しないように設定してください。

①	HTTPポート	80
②	HTTPSポート	443
③	RTSPポート	554

※: RTSPポート番号を変更すると、再起動します

④ 保存

- ① HTTPポート 本製品へのHTTPプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「1～65535」です。
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
- ② HTTPSポート 本製品へのHTTPSプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「1～65535」です。
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
- ③ RTSPポート 本製品へのRTSPプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「1～65535」です。
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
- ④ <保存> 「ポート」タブで設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「ポート設定」画面

ネットワーク > ポート設定

■ 「ポートマッピング」タブ

上位ルーターのポートマッピングに関する設定をします。

※ [ポートマッピング] (1) 欄で「ON」を選択すると、表示されます。

ポートタイプ	外部ポート	グローバルIP	状態
HTTPポート	80	0.0.0.0	無効
サーバーポート	81	0.0.0.0	無効
RTSPポート	554	0.0.0.0	無効
HTTPSポート	443	0.0.0.0	無効

- 1 **ポートマッピング** ポートマッピング機能をON/OFFします。
- 2 **マッピングタイプ** ルーターのポート開放で使用するマッピングタイプが表示されます。
- 3 **UPnPマッピング** ポートタイプごとに[外部ポート] (5) 欄で設定したポート番号と対応するグローバルIPアドレスを自動設定するかを選択します。
- **オート**
[外部ポート] (5) 欄のポート番号が占有されているとき、自動で占有されていないポート番号に変更されます。
- **マニュアル**
[外部ポート] (5) 欄のポート番号が占有されているとき、[状態] (7) 欄に「無効」が表示され、設定できません。
- 4 **ポートタイプ** ポートマッピングをする名前が表示されます。
- 5 **外部ポート** 使用するポート番号を設定します。
※ [UPnPマッピング] (3) 欄を「マニュアル」に設定している場合のみ設定できます。
※ 設定するポート番号が重複しないように設定してください。
- 6 **グローバルIP** ポートごとに割り当てられたグローバルIPアドレスが表示されます。
- 7 **状態** [外部ポート] (5) 欄で設定したポート番号が使用できるか表示されます。設定したポートが占有されている場合、「無効」が表示されます。
- 8 **〈保存〉** 「ポートマッピング」タブで設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「Eメール」画面

ネットワーク > Eメール

■ 送信者

電子メールの送信側を設定します。

アラームが作動した場合、設定した電子メールアドレスを使用して送信します。

送信者	
1 送信者名	<input type="text"/>
2 アドレス	<input type="text"/>
3 SMTPサーバー	<input type="text"/>
4 SMTPポート	<input type="text" value="25"/>
5 TLS/SSL	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
6 スナップショットの間隔(秒)	<input type="text" value="2"/> <input checked="" type="checkbox"/> 添付画像
7 サーバー認証	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
8 ユーザー名	<input type="text"/>
9 パスワード	<input type="password"/>

- 1 送信者名 送信者の名前を設定します。
- 2 アドレス 送信者の電子メールアドレスを設定します。
- 3 SMTPサーバー メール送信用のサーバーアドレスを設定します。
- 4 SMTPポート メール送信用サーバーのポート番号を設定します。
- 5 TLS/SSL TLS/SSL機能をON/OFFします。
「ON」に設定すると、電子メールをTLS、またはSSLを使用して暗号化します。
- 6 スナップショットの間隔(秒) ... 撮影する間隔を設定します。
「添付画像」にチェックマークを入れることで、スナップショットの間隔ごとに撮影した3枚のスナップショットを電子メールに添付します。
- 7 サーバー認証 サーバー認証機能をON/OFFします。
- 8 ユーザー名 SMTPサーバーへ認証するときのユーザー名を設定します。
- 9 パスワード SMTPサーバーへ認証するときのパスワードを設定します。

2 設定画面について

「Eメール」画面

ネットワーク > Eメール

■ 受信者

電子メールの受信側を設定します。

アラームが作動すると、設定した電子メールアドレスに送信します。

The screenshot shows a window titled '受信者' (Receiver) with the following fields and buttons:

- ① 名前1: Text input field
- ② アドレス1: Text input field with a 'テスト' (Test) button to its right
- ① 名前2: Text input field
- ② アドレス2: Text input field with a 'テスト' (Test) button to its right
- ① 名前3: Text input field
- ② アドレス3: Text input field with a 'テスト' (Test) button to its right
- ③ 保存: Blue button

- ① 名前1/2/3 送信する相手先の名前を設定します。
- ② アドレス1/2/3 送信する相手先の電子メールアドレスを設定します。
<テスト>をクリックすると、[アドレス1/2/3] (①)欄で入力したメールアドレスすべてにメールを送信できるのかテストします。
- ③ <保存> 「Eメール」画面で設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「QoS」画面

ネットワーク > QoS

■ 「QoS」タブ

データ送信の優先順位を設定し、データの通信速度などを一定に保ちます。
設定したDSCP値(10進数)が大きいほど、データ送信の優先順位を高くします。

① 音声と映像	<input type="text" value="46"/>
② アラームレポート	<input type="text" value="0"/>
③ 設定管理	<input type="text" value="0"/>
④ FTP	<input type="text" value="4"/>
⑤ 保存	<input type="button" value="保存"/>

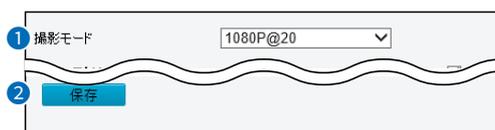
- ① 音声と映像 映像のデータ送信の優先順位を設定します。
- ② アラームとレポート アラームとレポートの優先順位を設定します。
- ③ 設定管理 設定管理の優先順位を設定します。
- ④ FTP FTPのデータ送信の優先順位を設定します。
- ⑤ <保存> 「QoS」画面で設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「ビデオ」画面

ビデオ > ビデオ

■ 「ビデオ」タブ



- ① 撮影モード……………メインストリームの[解像度]欄(P.2-33)を変更します。
※設定を変更すると、[フレームレート(fps)]欄(P.2-33)、[ビットレート(Kbps)]欄(P.2-33)、[フレーム間隔]欄(P.2-34)が出荷時の状態に戻ります。
- ② 〈保存〉……………「ビデオ」画面で設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「ビデオ」画面

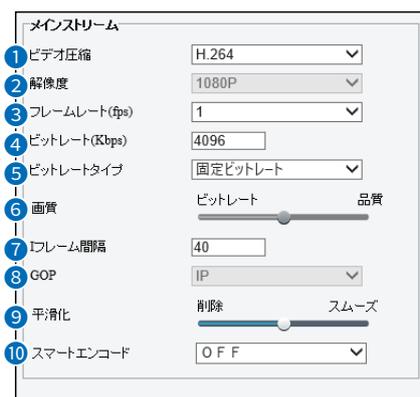
ビデオ > ビデオ

■ メインストリーム/サブストリーム/サードストリーム

ストリームに対する設定をします。

サブストリーム、サードストリームを使用する場合は、「有効」にチェックマークを入れます。

※本書では「メインストリーム」の設定項目で説明しています。



- ① **ビデオ圧縮** 映像の圧縮方法を「H.265」、「H.264」、「MJPEG」から選択します。
- ② **解像度** 映像の解像度が表示されます。
※ [サブストリーム] 項目、 [サードストリーム] 項目にある [解像度] 欄は、設定できます。
※ 「ビデオ」タブの [撮影モード] 欄 (P.2-32) の設定を変更すると、 [メインストリーム] 項目にある解像度の値が変更されます。
- ③ **フレームレート (fps)** 画像をエンコードするためのフレームレートを設定します。
- ④ **ビットレート (Kbps)** 映像のビットレートを設定します。
※ [ビデオ圧縮] (①) 欄を「MJPEG」に設定している場合は、設定できません。
※ [解像度] (②) 欄の設定を変更すると、値が変更されます。
- ⑤ **ビットレートタイプ** ビットレートで使用する種類を選択します。
※ [ビデオ圧縮] (①) 欄を「MJPEG」に設定している場合は、設定できません。
- ◎ **固定ビットレート**
一定のデータレートでデータを送信します。
- ◎ **可変ビットレート**
画質に応じたビットレートでデータを送信します。
- ⑥ **画質** 映像の画質を設定します。
スライダーを [ビットレート] の方向に動かすと、ビットレートが低下し、画質に影響する場合があります。スライダーを [品質] の方向に動かすと、ビットレートが上がり、画質が向上します。
※ [ビットレートタイプ] (⑤) 欄を「可変ビットレート」に設定している場合のみ設定できます。

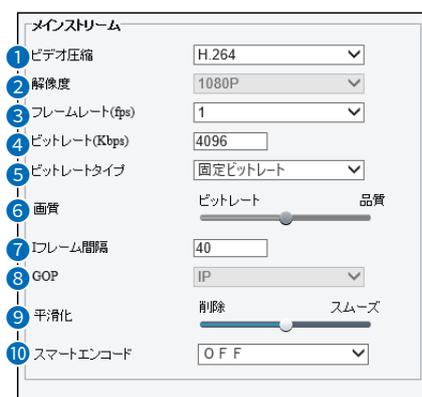
2 設定画面について

「ビデオ」画面

ビデオ > ビデオ

■ メインストリーム/サブストリーム/サードストリーム(つづき)

※本書では「メインストリーム」項目の設定画面で説明しています。



7 Iフレーム間隔

Iフレームがエンコードされる間隔を設定します。

Iフレーム間隔を短くすると、画質は向上しますが、帯域幅を多く消費します。

※ [ビデオ圧縮] (1) 欄を「MJPEG」、[スマートエンコード] (10) 欄を「基本モード」、または「アドバンスモード」に設定している場合は、設定できません。

8 GOP

MPEGビデオエンコーディングの画像グループが表示されます。

イントラフレーム (Iフレーム) とインターフレームが配置される順序を指定します。

※ [スマートエンコード] (10) 欄を「OFF」に設定している場合のみ表示されません。

9 平滑化

映像を平滑化する範囲を設定します。

スライダーを「削除」の方向へ移動すると、平滑化が無効になります。

スライダーを「スムーズ」の方向に動かすと、平滑化のレベルが上がりますが、画質に影響します。

※ [ビデオ圧縮] (1) 欄を「MJPEG」、[スマートエンコード] (10) 欄を「基本モード」、または「アドバンスモード」に設定している場合は、設定できません。

10 スマートエンコード

画質を保持した状態で、ビットレートを圧縮する機能を設定します。

[ビデオ圧縮] (1) 欄を「H.265」に設定しているときに使用すると、Ultra 265の圧縮方式になります。

※ [ビデオ圧縮] (1) 欄を「MJPEG」に設定している場合は、設定できません。

◎ OFF

スマートエンコードを使用しません。

◎ 基本モード

実際のビットレートを、設定されたビットレートの約3/4にします。

◎ アドバンスモード

実際のビットレートを、設定されたビットレートの約1/2にします。

2 設定画面について

「スナップショット」画面

ビデオ > スナップショット

■ 「スナップショット」タブ

スナップショット機能の設定です。

① スナップショット ON OFF
② 解像度 1280*720
③ 最大(KB) 300
④ 保存

- | | |
|------------|----------------------------|
| ① スナップショット | スナップショット機能を設定します。 |
| ② 解像度 | 撮影した画像の解像度が表示されます。 |
| ③ 最大(KB) | 画像ファイルの最大容量を設定します。 |
| ④ 〈保存〉 | 「スナップショット」画面で設定した内容を保存します。 |

2 設定画面について

「スナップショット」画面

ビデオ > スナップショット

■ スナップショットスケジュール

スケジュール設定時

スナップショットスケジュール

① スナップショットの間隔(秒)

② スナップショット枚数

③ スナップショットモード スケジュール 繰り返し

④

No.	スナップショット時間	+

※上図は、[スナップショットモード] (③) 欄で「スケジュール」を選択したときの画面です。

繰り返し設定時

③ スナップショットモード スケジュール 繰り返し

⑤ 間隔(秒)

※上図は、[スナップショットモード] (③) 欄で「繰り返し」を選択したときの画面です。

- ① スナップショット間隔(秒) …………… スナップショットを連続で撮影する間隔を設定します。
- ② スナップショット枚数…………… スナップショットを撮影する枚数を設定します。
- ③ スナップショットモード…………… スナップショットを自動で撮影する方法を設定します。

◎ スケジュール

スナップショットを撮影する時間を設定します。

◎ 繰り返し

スナップショットを繰り返し撮影します。

- ④ スケジュール…………… スナップショットを撮影する時間を設定します。
[+]をクリックすると、登録できます。
[-]をクリックすると、登録した内容を削除します。
※[スナップショットモード] (③) 欄を「スケジュール」に設定している場合のみ設定できます。
- ⑤ 間隔(秒) …………… [スナップショット枚数] (②) 欄で設定した枚数の撮影が終わった場合、次のスナップショットを撮影するまでの間隔を設定します。
※[スナップショットモード] (③) 欄を「繰り返し」に設定している場合のみ設定できます。

2 設定画面について

「ROI」画面

ビデオ > ROI

■ 「ROI」タブ

ROI(関心領域)の画質範囲を設定します。

※最大2つまで追加できます。



[範囲] 欄にある「+」をクリックすると、左の映像にROIの画質範囲を追加します。

範囲の大きさや位置を変更することで、ROIの画質範囲と位置を変更します。

「■」をクリックすると、登録されているROIの画質範囲を削除します。

2 設定画面について

「メディアストリーム」画面

ビデオ > メディアストリーム > メディアストリーム

■ 「メディアストリーム」タブ

どの装置に向けてデータを出しているのかを確認できます。

1	2	3	4	5	6	7
ストリームプロファ...	プロトコル	宛先IP	宛先ポート	永続的	状態	+
メインストリーム	TCP	192.168.0.1	52726	無効	ストリーミング	⊗ 8

- 1 **ストリームプロファイル** 使用しているストリームが表示されます。
- 2 **プロトコル** 使用している通信プロトコルが表示されます。
- 3 **宛先IP** 使用しているIPアドレスが表示されます。
- 4 **宛先ポート** 使用しているポート番号が表示されます。
- 5 **永続的** 本製品の再起動後に自動的に構成したメディアストリームをデバイスで確立するかが表示されます。
- 6 **状態** 現在データを流しているデバイスの映像状態が表示されます。
- 7 **追加** 「メディアストリーム」タブに設定内容を登録します。(P.2-39)
- 8 **削除** 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の「⊗」をクリックします。

2 設定画面について

「メディアストリーム」画面

ビデオ > メディアストリーム > メディアストリーム

■ メディアストリーム追加

カメラを管理していないNVRにデータを送る場合に設定します。

「メディアストリーム」タブの「+」をクリックしたときに表示される画面です。

- | | |
|---------------|--|
| ① ストリームプロファイル | 送信するストリームを選択します。 |
| ② IPアドレス | 送信するIPアドレスを設定します。 |
| ③ ポート | 送信するポート番号を設定します。
※ [プロトコル] (④) で「RTMP」に設定した場合は、表示されません。 |
| ④ プロトコル | 使用する通信プロトコルを、「TS/UDP」、「ES/UDP」、「RTMP」から設定します。 |
| ⑤ 永続的 | 本製品の再起動後に自動的に構成したメディアストリームをデバイスで確立するかを設定します。 |
| ⑥ 〈確認〉 | [メディアストリーム追加] 項目で設定した内容を登録します。 |
| ⑦ 〈キャンセル〉 | [メディアストリーム追加] 項目の設定内容を登録せずに、[メディアストリーム追加] 項目を閉じます。 |

2 設定画面について

「メディアストリーム」画面

ビデオ > メディアストリーム > RTSPマルチキャストアドレス

■ 「RTSPマルチキャストアドレス」タブ

メインストリーム	
1 マルチキャストアドレス	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
2 ポート	<input type="text" value="0"/>

サブストリーム	
マルチキャストアドレス	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input type="text" value="0"/>

サードストリーム	
マルチキャストアドレス	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input type="text" value="0"/>

3 保存

- ① マルチキャストアドレス RTSPを送信するマルチキャストアドレスを設定します。
- ② ポート..... RTSPを送信するポート番号を設定します。
- ③ 〈保存〉 「RTSPマルチキャストアドレス」タブで設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ シーン



- ① **現行** 使用する、または設定するシーンを設定します。
- ② **シーン名** 本製品の設置場所に合わせて設定します。
- ◎ **共通**
屋外で使用するときを設定します。
 - ◎ **屋内**
屋内で使用するときを設定します。
 - ◎ **ハイライト補正(道路用)**
数字や文字が含まれる映像を保存したいときに使用します。
 - ◎ **ハイライト補正(公園用)**
スポットライトなどの強い光による影響を抑えます。
 - ◎ **カスタム**
必要に応じてシーン名を設定します。
- ③ **自動切替** チェックマークを入れると、シーンを自動で切り替える場合の候補に入れます。
※ [デフォルト設定] (⑤) 欄で設定したシーンは、自動で候補に入っています。
- ④ **スケジュール** シーンの自動切替をする場合にどの期間で切り替えるのかを設定します。
また、照明の数値を設定することで、設定した期間中に照明の数値が満たされた場合のみ、切り替えます。
※ 照明の開始値と終了値が両方とも「0」に設定されている場合は、照明の設定は無効になります。
- ⑤ **デフォルト設定** 通常使用するシーンを選択します。
- ⑥ **自動切替有効** チェックマークを入れると、[自動切替] (④) 欄でチェックマークを入れているシーンに自動で切り替えます。
[スケジュール] (④) 欄で設定したスケジュールごとにシーンを切り替えます。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ 画像補正



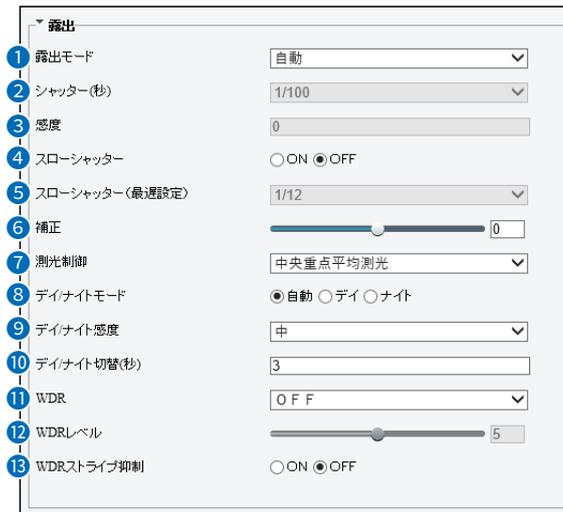
- ① **輝度** 画像の明るさを設定します。
- ② **彩度** 色に含まれる色相の量を設定します。
- ③ **コントラスト** 最も白い部分と最も黒い部分の差異を設定します。
数値が大きいほど、差異を大きくします。
- ④ **シャープネス** 輪郭の強弱を調整します。
- ⑤ **2Dノイズ軽減** 画像のノイズを減らします。
この設定によって、画像がぼやける場合があります。
- ⑥ **3Dノイズ軽減** 画像のノイズを減らします。
この設定によって、モーションブラー(または一部のアプリではゴースト)を引き起こす可能性があります。
- ⑦ **画像回転** 画像の回転設定をします。
 - **ノーマル**
通常の画像にします。
 - **垂直反転**
画像を垂直に反転した状態にします。
 - **水平反転**
画像を水平に反転した状態にします。
 - **180°**
画像を180°に回転した状態にします。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ 露出



① 露出モード 露出効果の設定をします。

◎ 自動

環境に応じて露出を自動的に調整します。

◎ カスタム

必要に応じて露出を設定します。

◎ 屋内50Hz/屋内60Hz

屋内に設置している場合、蛍光灯の周波数に合わせて設定します。
通常、東日本は屋内50Hz、西日本は屋内60Hzに設定します。

◎ 手動

[シャッター(秒)](②)欄、[感度](③)欄、[スローシャッター](④)欄を手動で設定して、画質を微調整します。

◎ 低モーションブラー

動体を録画した場合のブレを減らすために、シャッター速度を制御します。

② シャッター(秒)

レンズに入る光を制御するために使用されます。シャッターを速く設定した場合は、動きの速いシーン、シャッターを遅く設定した場合は、ゆっくりと変化するシーンに設定します。

※ [露出モード](①)欄が「カスタム」、 「手動」、または「低モーションブラー」に設定されている場合のみ設定できます。

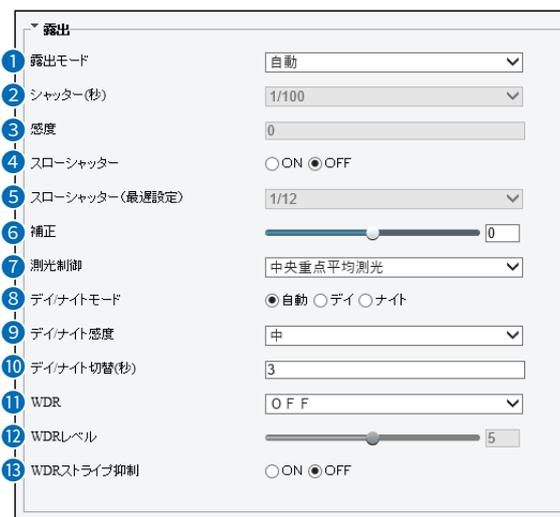
※ [スローシャッター](④)欄が「OFF」に設定されている場合、シャッタースピードの逆数はフレームレートよりも大きく設定してください。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ 露出(つづき)



- 3 感度** 本製品が光の状態に応じて標準のビデオ信号を出力するように、画像信号を制御します。
※「露出モード」(1)欄が「手動」、または「カスタム」に設定されている場合のみ設定できます。
- 4 スローシャッター** スローシャッター機能をON/OFFします。
- 5 スローシャッター(最遅設定)** ... 本製品が露光中に使用できる最も遅いシャッター速度を設定します。
※「スローシャッター」(4)欄が「ON」に設定されている場合のみ設定できます。
- 6 補正** 必要な補正値を調整して、目的の効果になるように設定します。
※「露出モード」(1)欄が「手動」に設定されている場合は、設定できません。
- 7 測光制御** 光の強度を測定する方法を設定します。
※「露出モード」(1)欄が「手動」に設定されている場合は、設定できません。
- ◎ **中央重点平均測光**
おもに画像の中央部分の光を測定します。
- ◎ **評価測光(BLC)**
画像のカスタマイズされた領域の光を測定します。
- ◎ **スポット測光**
画像の露出オーバー領域の明るさを無視します。
この設定にした場合、画像の全体的な明るさが低下します。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ 露出(つづき)



⑧ デイ/ナイトモード デイ/ナイトモードの切り替えを設定します。

◎ 自動

光の状態に応じてデイモード、またはナイトモードに切り替えます。

◎ デイ

カラー画像を表示します。

◎ ナイト

白黒画像を表示します

⑨ デイ/ナイト感度 デイモードとナイトモードを切り替えるための設定をします。
感度を高く設定すると、光の変化に対してより敏感になり、デイモードとナイトモードが切り替わりやすくなります。
※「デイ/ナイトモード」(⑧) 欄が「自動」に設定されている場合のみ設定できます。

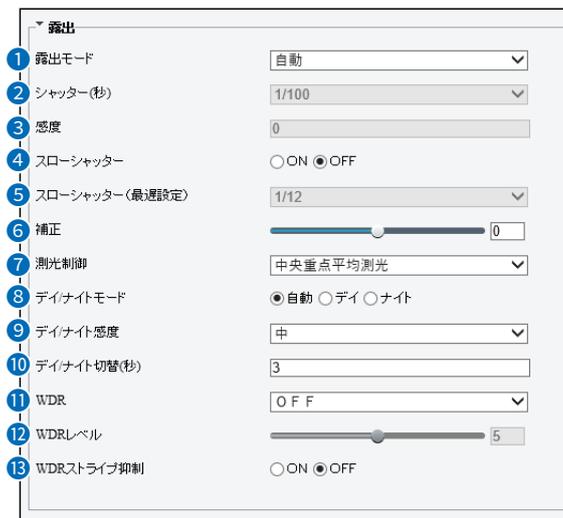
⑩ デイ/ナイト切替(秒) 切り替え条件が満たされた場合、本製品がデイモードとナイトモードを切り替えるまでの時間を設定します。
※「デイ/ナイトモード」(⑧) 欄が「自動」に設定されている場合のみ設定できます。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ 露出(つづき)



- ⑪ WDR 同じ画像の明るい部分と暗い部分を区別するかを設定します。
※「露出モード」(①)欄が「手動」に設定されている場合は、設定できません。
- ⑫ WDRレベル WDRレベルを調整して画像を改善できます。
※ [WDR] (⑪)欄を「ON」に設定した場合のみ設定できます。
※ シーンの明るい部分と暗い部分のコントラストが高い場合は、レベル7以上を使用してください。低いコントラストの場合は、WDRを無効にするか、レベル1～6を使用することをおすすめします。
- ⑬ WDRストライプ抑制 有効にすると、光の周波数に応じて低速シャッター周波数を自動的に調整し、画像に現れるしま模様を最小限に抑えます。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ スマート照明

スマート照明

1 スマート照明 ON OFF

2 照明タイプ 赤外線

3 コントロールモード グローバル

4 照明レベル 0

① スマート照明 スマート照明機能を ON/OFF します。

② 照明タイプ 使用している照明タイプが表示されます。

③ コントロールモード IR照明と露出を設定します。

◎ グローバル

IR照明と露出を調整して、バランスのとれた画像効果を実現します。設定すると、一部の領域が露出オーバーになる場合があります。監視範囲と画像の明るさを最優先する場合におすすめします。

◎ 露出オーバーの抑制

本製品はIR照明と露出を調整して、局所的な露出オーバーを防ぎます。このオプションを選択すると、一部の領域が暗くなる場合があります。画像の中央部分の明瞭さと露出オーバーコントロールが最優先事項である場合におすすめします。

◎ 手動

IR照明の強度を手動で設定します。

④ 照明レベル 照明のレベルを0～1000の範囲から設定します。
※ [コントロールモード] (③) 欄を「手動」に設定している場合のみ設定できます。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ ホワイトバランス



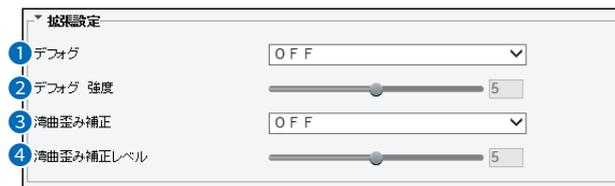
- ① ホワイトバランス …………… 画像の赤、または青のオフセットの調整方法を設定します。
- ◎自動/自動2
本製品は、光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します。
(色は青になる傾向があります)
※画像がまだ不自然に赤または青である場合は、自動2を試してください。
 - ◎屋外
色温度範囲が比較的広い屋外環境に適しています。
 - ◎微調整
赤と青のオフセットを手動で設定します。
 - ◎ナトリウムランプ
光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します。(色は赤になる傾向があります)
 - ◎保護
現在の色温度を変更せずに保護します。
- ② 赤オフセット …………… 赤のオフセットを手動で調整します。
※ [ホワイトバランス] (①) 欄を「微調整」に設定している場合のみ設定できます。
- ③ 青オフセット …………… 青のオフセットを手動で調整します。
※ [ホワイトバランス] (①) 欄を「微調整」に設定している場合のみ設定できます。

2 設定画面について

「画像」画面

画像 > 画像

■ 拡張設定



- ① **デフォグ** 映像の鮮明度を調整するのかを設定します。
※ [露出] 項目の [WDR] 欄 (P.2-46) を「OFF」に設定している場合のみ設定
できます。
- ② **デフォグ 強度** 映像の鮮明度を設定します。
デフォグ強度レベル6～9は光学的デフォグを表し、デフォグ強度がレベル
5から6に設定されると、画像はカラーから白黒に変化します。
レベル9は最大の霧除去効果を達成し、レベル1は最小の霧除去効果を達成
します。
※ [デフォグ] (①) 欄を「ON」に設定している場合のみ設定できます。
- ③ **湾曲歪み補正** 映像の湾曲を調整するのかを設定します。
- ④ **湾曲歪み補正レベル** 映像の湾曲を調整します。
※ [湾曲歪み補正] (①) 欄を「ON」に設定している場合のみ設定できます。

2 設定画面について

「OSD」画面

画像 > OSD

■ 「OSD」タブ

※「共通」メニューの「OSD」画面と同じ設定内容です。
設定の説明については、2-17ページをご覧ください。



有効	番号	オーバーレイOSD	X軸	Y軸
<input checked="" type="checkbox"/>	1	<日時・時刻>	<input checked="" type="checkbox"/> 0	<input type="text" value="0"/>
<input type="checkbox"/>	2		<input type="text" value="75"/>	<input type="text" value="0"/>
<input type="checkbox"/>	3		<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="75"/>
<input type="checkbox"/>	4		<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>

表示形式

効果:

フォントサイズ:

最小マージン:

日付形式: DD=日; DDDD=#日; MM=月; YYYY=年

時刻形式: hH=12/24時; tt=A.M./P.M.; mm=分; ss=秒

2 設定画面について

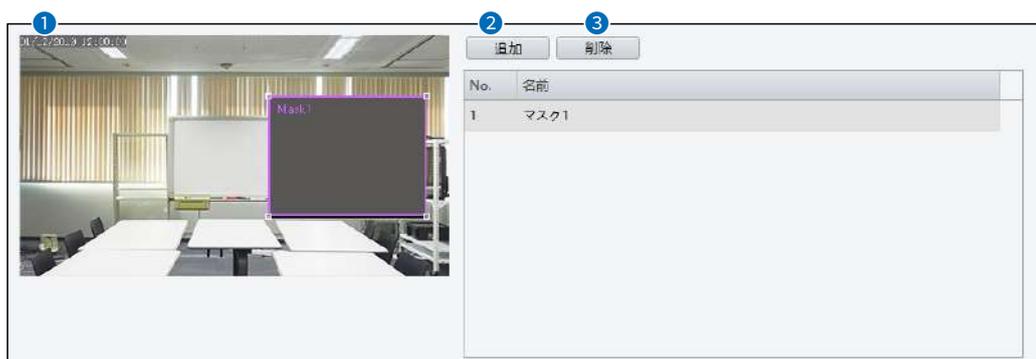
「プライバシーマスク」画面

画像 > プライバシーマスク

■ 「プライバシーマスク」タブ

プライバシー保護のため、映像にマスク領域を設定します。

※ マスク領域は、最大4つまで追加できます。



- ① 映像 表示されているマスク領域の大きさや位置を変更します。
- ② <追加> マスク領域を追加します。
<追加>をクリックすると、[映像] (①)欄にマスク領域が表示されます。
- ③ <削除> 登録した内容を取り消すときは、該当するマスク領域を選択して、<削除>をクリックします。

2 設定画面について

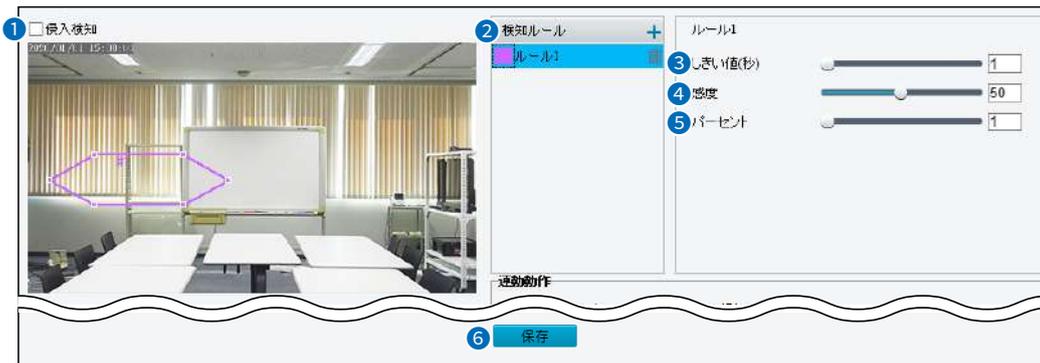
「侵入」画面

インテリジェント > 侵入

■ 「侵入」タブ

指定した範囲に人やものなどが侵入した場合にアラームを作動する設定をします。

※ 設定できる検出範囲は1つです。



- | | | |
|-----------|-------|---|
| 1 侵入検知 | | チェックマークを入れると、侵入検知機能が有効になります。 |
| 2 検知ルール | | 検知範囲を設定します。
検知範囲の大きさや位置を変更することで、検知範囲を変更します。
[+]をクリックすると、左の映像に検出範囲を追加します。
[-]をクリックすると、該当する欄の検出範囲を削除します。
表示されている範囲にある□をドラッグすると、検知範囲を変更できます。
線をドラッグすると、範囲全体を移動できます。 |
| 3 しきい値(秒) | | 設定した検出範囲に人やものなどがどのくらいの時間までとどまるとアラームを動作するのかを設定します。 |
| 4 感度 | | 数値が大きいほど感度が高くなり、検出しやすくなります。 |
| 5 パーセント | | 設定した検出範囲に対する侵入者のサイズ(最小比率)を設定します。 |
| 6 <保存> | | 「侵入」画面で設定した内容を保存します。 |

2 設定画面について

「侵入」画面

インテリジェント > 侵入

■ 連動動作

侵入検知機能でアラームが作動した場合に、動作する内容を設定します。



連動動作

FTPアップロード Eメール通知

連動動作…………… アラームが作動したときに、動作する内容を設定します。

◎FTPアップロード

アラームが作動したときに、指定されたFTPサーバーにスナップショットを自動的にアップロードします。

※この機能を使用する前に、FTPとスナップショットの設定が完了していることを確認してください。

設定については、2-35ページと2-62ページをご覧ください。

◎Eメール通知

アラームが作動したときに、指定されたメールアドレスにスナップショットを自動的に送信します。

※この機能を使用する前に、メールの設定を完了してください。

設定については、2-29ページをご覧ください。

■ スケジュール

侵入検知機能を使用するスケジュールを設定します。



☑スケジュール

有効 無効 編集

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月																									
火																									
水																									
木																									
金																									
土																									
日																									

スケジュール…………… 機能を使用する日時を設定します。
「スケジュール」にチェックマークを入れると、スケジュール機能が有効になります。
〈有効〉、または〈無効〉をクリックし、使用する日時を設定します。
〈編集〉をクリックすると、時間を細かく設定できます。(P.2-54)

2 設定画面について

「侵入」画面

インテリジェント > 侵入

■ 編集

[スケジュール] 欄にある<編集>をクリックしたときに表示される画面です。

- ① 曜日 時間を設定する曜日を選択します。
- ② 開始時刻 機能を開始する時刻を設定します。
- ③ 終了時刻 機能を終了する時刻を設定します。
- ④ コピー先 [開始時刻] (②) 欄と [終了時刻] (③) 欄の設定内容をコピーする曜日を選択します。
- ⑤ <コピー> クリックすると、[コピー先] (④) 欄で選択した曜日に設定をコピーします。
- ⑥ <確認> [編集] 項目内で設定した内容を登録します。
- ⑦ <キャンセル> [編集] 項目の設定内容を登録せずに、[編集] 項目を閉じるボタンです。

2 設定画面について

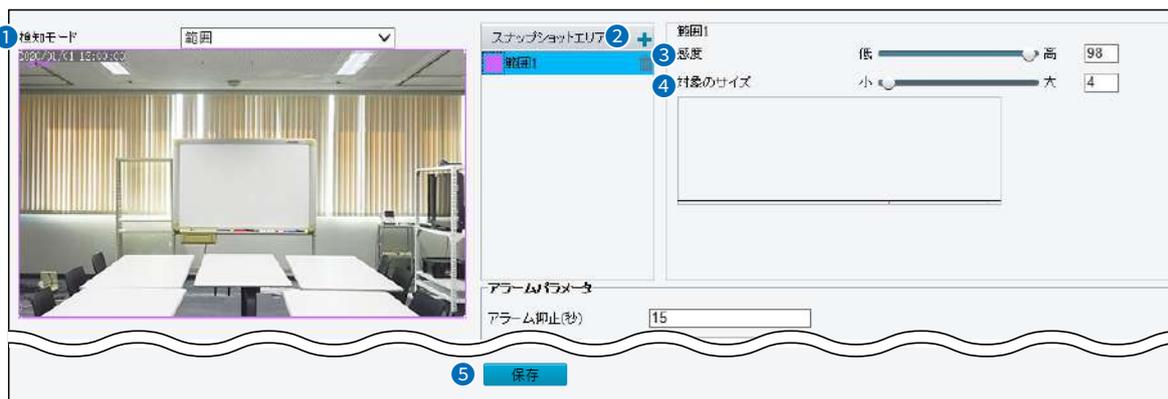
「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > 動体検知

■ 「動体検知」タブ

指定した範囲にいる人やものなどが動いた場合にアラームを作動する設定をします。

※ 検知範囲は、最大4つまで追加できます。



① 検知モード 動体検知をする範囲の作成方法を設定します。

◎ 範囲

範囲の大きさや場所を自由に変更します。

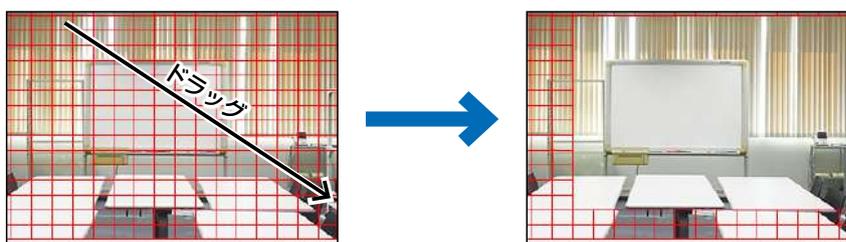
表示されている範囲の□をドラッグすると、大きさを変更できます。

線をドラッグすると、範囲全体を移動できます。

◎ グリッド

表示されるマス目から、検知範囲を選択します。

線で囲まれている範囲から検知します。



② スナップショットエリア 範囲の追加や削除をします。

「+」をクリックすると、左の映像に検知範囲を追加します。

「-」をクリックすると、該当する欄の検知範囲を削除します。

※ [検知モード] (① 欄で「範囲」を設定した場合のみ設定できます。

③ 感度 動体検知の感度を設定します。

④ 対象のサイズ 人やものなどがどのぐらい動いた場合にアラームを作動するか設定します。
小さいほど少しの動きでアラームが作動します。

※ [検知モード] (① 欄で「範囲」を設定した場合のみ設定できます。

⑤ <保存> 「動体検知」タブ内で設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > 動体検知

■ アラームパラメータ

アラームパラメータ	
① アラーム抑止(秒)	<input type="text" value="15"/>
② アラーム解除(秒)	<input type="text" value="5"/>

- ① **アラーム抑止(秒)** アラームが作動している場合、同じアラームを作動させない時間を設定します。
- ② **アラーム解除(秒)** アラームが作動してから解除するまでの時間を設定します。

2 設定画面について

「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > タンパリング

■ トリガー動作

動体検知機能でアラームが作動した場合、動作する内容を設定します。



トリガー動作…………… アラームが作動したときに、動作する内容を設定します。

◎ 録画ストレージ

アラームが作動したときに、自動で録画し、microSDカードに保存します。

◎ FTPアップロード

アラームが作動したときに、指定したFTPサーバーにスナップショットをアップロードします。

※この機能を使用する前に、スナップショットとFTPサーバーの設定が完了していることを確認してください。

設定については、2-35ページと2-62ページをご覧ください。

◎ Eメール通知

アラームが作動したときに、指定したメールアドレスにスナップショットを自動的に送信します。

※この機能を使用する前に、メールの設定を完了してください。

設定については、2-29ページをご覧ください。

◎ 画像保存

アラームが作動したときに、自動でスナップショットを撮影し、microSDカードに保存します。

※この機能を使用する前に、スナップショットの設定を完了してください。

設定については、2-35ページをご覧ください。

■ スケジュール

動体検知機能を使用する日時を設定します。

設定の説明については、2-53ページをご覧ください。



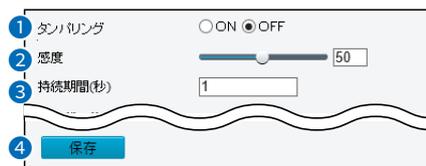
2 設定画面について

「標準アラーム」画面

イベント > 標準アラーム > タンパリング

■ 「タンパリング」タブ

レンズが一定時間ブロックされた場合にアラームを作動する設定をします。



- ① **タンパリング** タンパリング機能をON/OFFします。
- ② **感度** 検出する感度を設定します。
感度が高いほど、遠くからのブロックを検出します。
- ③ **持続期間(秒)** レンズがブロックされた場合に、どのぐらいでアラームを作動するか設定します。
- ④ **〈保存〉** 「タンパリング」タブで設定した内容を保存します。

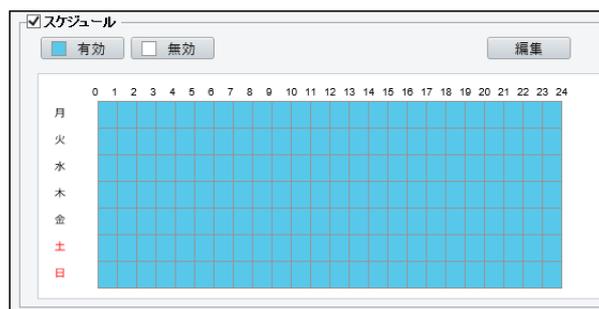
■ トリガー動作

タンパリング機能でアラームが作動した場合、動作する内容を設定します。
設定の説明については、2-57ページをご覧ください。



■ スケジュール

タンパリング機能を使用する日時を設定します。
設定の説明については、2-53ページをご覧ください。



2 設定画面について

「ストレージ」画面

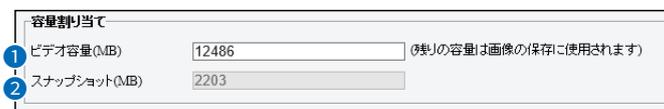
ストレージ > ストレージ

■ 「ストレージ」タブ



- ① 記録媒体 映像や画像を保存する媒体が表示されます。
〈フォーマット〉をクリックすると、設定している記録媒体を初期化します。
「有効」にチェックマークを入れると、設定した記録媒体を使用します。
- ② ストレージ状態 記録媒体の状態を表示します。
- ③ 総容量と空き容量 現在のmicroSDカードの総容量と空き容量が表示されます。
- ④ 〈保存〉 「ストレージ」画面で設定した内容を保存します。

■ 容量割り当て



- ① ビデオ容量(MB) 録画ファイルの保存に割り当てる容量を設定します。
- ② スナップショット(MB) 記録媒体の総容量から[ビデオ容量(MB)](①)欄で設定した容量の残りをスナップショットの保存に割り当てます。

2 設定画面について

「ストレージ」画面

ストレージ > ストレージ

■ 映像ストレージ情報

映像ストレージ情報	
① ストレージポリシー	<input checked="" type="radio"/> マニュアルストレージ <input type="radio"/> プランストレージ <input type="radio"/> OFF
② ストリーム	メインストリーム
③ ストレージが一杯の時	<input checked="" type="radio"/> 上書き <input type="radio"/> 停止
④ 事後録画時間(秒)	60

- ① ストレージポリシー microSDカードに録画ファイルを保存する方法を設定します。
- マニュアルストレージ
常に録画ファイルをmicroSDカードに保存します。
 - プランストレージ
指定した期間に録画したファイルをmicroSDカードに保存します。
 - OFF
ストレージポリシー機能を無効にします。
- ② ストリーム 録画で使用するストリームを設定します。
ストリームの設定については、2-33ページをご覧ください。
※ [ストレージポリシー] (①) 欄を「OFF」に設定している場合は、設定できません。
- ③ ストレージが一杯の時 microSDカードに録画ファイルを保存する容量がない場合の処理を設定します。
- 上書き
一番古い録画ファイルを削除して、新しい録画ファイル用の容量を作ります。
 - 停止
録画を停止します。
- ④ 事後録画時間(秒) アラームが設定されている録画の場合、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さを設定します。

ご注意

microSDカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。書き込みや消去などができなくなったときは寿命ですので、新しいmicroSDカードをご用意ください。重要なデータなどは、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。パソコンへ録画ファイルを保存する場合は2-7ページ、スナップショットを保存する場合は2-8ページをご覧ください。

2 設定画面について

「ストレージ」画面

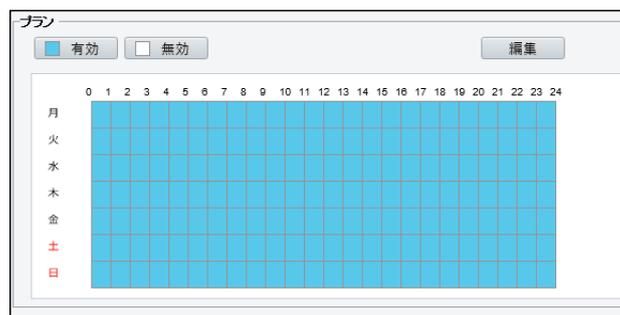
ストレージ > ストレージ

■ プラン

microSDカードに録画ファイルを保存する期間を設定します。

設定の説明については、2-53ページをご覧ください。

※ [映像ストレージ情報] 項目の [ストレージポリシー] 欄 (P.2-60) を「プランストレージ」に設定している場合のみ表示されま
す。



2 設定画面について

「FTP」画面

ストレージ > FTP

■ サーバーパラメーター

サーバーパラメーター	
① サーバーIP	<input type="text" value="192.168.0.150"/>
② ポート番号	<input type="text" value="21"/>
③ ユーザー名	<input type="text"/>
④ パスワード	<input type="password"/>
⑤ 画像アップロード	<input type="checkbox"/>
⑥ 上書き	<input type="checkbox"/>
⑦ 上書き(画像保存数)	<input type="text" value="1000"/>
⑧ テスト	<input type="button" value="テスト"/>

- ① サーバーIP FTPサーバーのIPアドレスを設定します。
- ② ポート番号 FTPサーバーのポート番号を設定します。
- ③ ユーザー名 FTPサーバーへ認証するときのユーザー名を設定します。
- ④ パスワード FTPサーバーへ認証するときのパスワードを設定します。
- ⑤ 画像アップロード 画像をアップロードするか設定します。
- ⑥ 上書き 画像を上書きして保存するか設定します。
※チェックマークを入れた場合は、[ファイル名]欄(P.2-63)で「写真番号」を選択してください。
- ⑦ 上書き(画像保存数) 画像を上書きして保存する枚数を設定します。
- ⑧ <テスト> [サーバーIP](①)欄で設定したIPアドレスのFTPサーバーへログインできるかテストします。

2 設定画面について

「FTP」画面

ストレージ > FTP

■ スナップショットイメージ

FTPサーバーにスナップショットを送信するフォルダーとファイル名を設定します。

番号	ファイル名
1	なし
2	
3	
4	
5	

- ① ルートディレクトリ FTPサーバーにスナップショットを保存するパスを設定します。
- ② 区切記号 FTPサーバーに送信するスナップショットのファイル名を設定する場合、[ファイル名] (③) 欄の区切りで使用する記号を設定します。
- ③ ファイル名 FTPサーバーにスナップショットを送信するファイル名を設定します。
- ④ <保存> 「FTP」画面で設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「ユーザー」画面

セキュリティ > ユーザー

■ 「ユーザー」タブ

ユーザーの追加、削除やパスワードの変更をします。
※「共通」メニューの「ユーザー」画面と同じ設定項目です。
設定の説明については、2-19ページをご覧ください。

追加 編集 削除		
番号	ユーザー名	ユーザータイプ
1	admin	管理者

2 設定画面について

「ネットワークセキュリティ」画面

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > HTTPS

■ 「HTTPS」タブ

設定画面へのアクセスで、HTTPS機能とSSL証明を使用するときの設定です。

The screenshot shows the 'HTTPS' configuration interface. At the top, there is a section labeled '1 HTTPS' with a radio button set to 'OFF'. Below it, '2 SSL証明' is followed by a text input field. To the right of the input field are two buttons: '3 選択' and '4 アップロード'. At the bottom left, there is a blue button labeled '5 保存'.

- 1 HTTPS HTTPS機能をON/OFFします。
- 2 SSL証明 本製品で使用するSSL証明を設定します。
〈選択〉をクリックして、(拡張子:pem)を保存する場所を選択します。
〈アップロード〉をクリックすることで、使用するSSL証明をアップロードします。
- 3 〈保存〉 「HTTPS」タブで設定した内容を保存します。

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > 認証方式

■ 「認証方式」タブ

ONVIF対応の機器で本製品の映像を確認する場合、RTSP、HTTPの認証方式を設定します。

The screenshot shows the authentication method configuration interface. It has two rows: '1 RTSP認証' with a dropdown menu set to 'Digest', and '2 HTTP認証' also with a dropdown menu set to 'Digest'. At the bottom left, there is a blue button labeled '3 保存'.

- 1 RTSP認証 RTSP認証の認証方式を設定します。
- 2 HTTP認証 HTTP認証の認証方式を設定します。
- 3 〈保存〉 「認証方式」タブで設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「ネットワークセキュリティ」画面

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > ARP保護

■ 「ARP保護」タブ

ARP(Address Resolution Protocol)攻撃から本製品を保護します。

パソコンが別のネットワークから本製品にアクセスする前に、ゲートウェイとMACアドレスを適切に設定する必要があります。誤ったMACアドレスが設定されている場合、同じLAN上のパソコンだけがアクセスできます。

① ARP保護	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
② ゲートウェイアドレス	192.168.0.2
③ ゲートウェイMACアドレス	0
④	保存

- ① ARP保護 ARP保護機能をON/OFFします。
- ② ゲートウェイアドレス 「ネットワーク」画面の[デフォルトゲートウェイ]欄(P.2-14)で設定したゲートウェイアドレスが表示されます。
- ③ ゲートウェイMACアドレス [ゲートウェイアドレス](②)欄のMACアドレスを設定します。
- ④ 〈保存〉 「ARP保護」タブで設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「ネットワークセキュリティ」画面

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > IPアドレスフィルタリング

■ 「IPアドレスフィルタリング」タブ

指定したIPアドレスのアクセスを許可、または禁止します。

The screenshot shows the 'IPアドレスフィルタリング' (IP Address Filtering) configuration page. At the top, there is a toggle switch for 'IPアドレスフィルタリング' with 'ON' and 'OFF' options. Below it is a dropdown menu for 'フィルタリングモード' (Filtering Mode) currently set to 'ホワイトリスト' (Whitelist). A table with two columns, '番号' (No.) and 'IPアドレス' (IP Address), is shown. The first row has '1' in the '番号' column and an empty input field in the 'IPアドレス' column. To the right of the table is a '+' button for adding entries and a trash icon for deleting entries. At the bottom left is a '保存' (Save) button. Numbered callouts 1 through 6 are placed around the interface to indicate key elements.

- ① IPアドレスフィルタリング …… IPアドレスフィルタリング機能をON/OFFします。
- ② フィルタリングモード …… [IPアドレス] (③)欄で登録したIPアドレスのアクセスを許可、または禁止するかを設定します。
 - ホワイトリスト
登録したIPアドレスのアクセスを許可します。
 - アクセス拒否
登録したIPアドレスのアクセスを禁止します。
- ③ IPアドレス …… アクセスを許可、または拒否するIPアドレスを入力します。
- ④ 追加 …… [IPアドレス] (③)欄で設定した内容を追加します。
- ⑤ 削除 …… 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の「」をクリックします。
- ⑥ <保存> …… 「IPアドレスフィルタリング」タブで設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「ネットワークセキュリティ」画面

セキュリティ > ネットワークセキュリティ > アクセス方式

■ 「アクセス方式」タブ



- | | |
|---------------------|--|
| ① 簡易パスワード | 簡易パスワード機能をON/OFFします。
「OFF」に設定した場合、容易なパスワードに設定できません。 |
| ② 不正なログインをロック | 「ON」に設定した場合、ログインに5回失敗すると、5分間ログインできません。 |
| ③ <保存> | 「アクセス方式」タブで設定した内容を保存します。 |

2 設定画面について

「登録情報」画面

セキュリティ > 登録情報

■ 「登録情報」タブ

Webインターフェースで本製品のベンダー情報を非表示に設定できます。



- ① **ベンダー情報非表示** ベンダー情報非表示機能をON/OFFします。
- ② **〈保存〉** 「登録情報」画面で設定した内容を保存します。

2 設定画面について

「時間」画面

システム > 時間 > 時間

■ 「時間」タブ

本製品のIPアドレスなどの通信設定を変更します。

※「時刻同期」欄を「NTPサーバーと同期」に設定したときに表示される画面を使用しています。

※「共通」メニューの「時間」画面にある「時間」タブと同じ設定項目です。

設定の説明については、2-15ページをご覧ください。

時刻同期	<input type="text" value="NTPサーバーと同期"/>
タイムゾーン	<input type="text" value="(UTC+09:00) 東京、大阪、ソウル、ヤクーツク"/>
システム時間	<input type="text" value="2020-01-01 12:00:00"/>
時間を設定	<input type="text" value="2020-01-01 12:00:00"/> <input type="button" value="P.Cと時刻同期"/>
NTPサーバー	
NTPサーバーアドレス	<input type="text" value="0.0.0.0"/> <input type="button" value="テスト"/>
更新間隔(秒)	<input type="text" value="600"/>
<input type="button" value="保存"/>	

システム > 時間 > サマータイム

■ サマータイム

設定した期間だけ時刻を進めます。

※「共通」メニューの「時間」画面にある「サマータイム」タブと同じ設定項目です。

設定の説明については、2-16ページをご覧ください。

サマータイム	
サマータイム	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
開始時刻	<input type="text" value="4月"/> <input type="text" value="第1"/> <input type="text" value="日"/> <input type="text" value="02"/> <input type="text" value="時"/>
終了時刻	<input type="text" value="10月"/> <input type="text" value="最終"/> <input type="text" value="日"/> <input type="text" value="02"/> <input type="text" value="時"/>
サマータイム調整	<input type="text" value="60分"/>
<input type="button" value="保存"/>	

2 設定画面について

「メンテナンス」画面

システム > メンテナンス

■ ファームウェア

ファームウェアの更新をします。

ローカル更新.....

〈選択〉をクリックして、表示された画面から、パソコンに保存している本製品のファームウェアファイル(拡張子: zip)を選択して、〈開く(O)〉をクリックします。

選択したファイルとその階層が、[ローカル更新]欄のテキストボックスに自動入力されたことを確認します。

〈アップグレード〉をクリックすると、テキストボックスに表示された保存先のファームウェアファイルを本製品に書き込みます。

[ブートプログラムをアップグレード]にチェックマークを入れてファームウェアを更新すると、設定が初期化され、ブートプログラムを本製品と同時にアップデートします。

2 設定画面について

「メンテナンス」画面

システム > メンテナンス

■ システム設定

設定内容の初期化、書き出し、読み出しをします。

※保存した設定ファイル(拡張子:tgz)は、本製品以外の製品では使用できません。

※読み出しには数分かかる場合があります。

※IPアドレスと管理者用のパスワードが不明な場合などの初期化については、3-4ページをご覧ください。

システム設定

1 工場出荷設定 ネットワーク、ユーザ情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します

2 設定の読み出し 選択 読み出し

3 設定の書き出し 選択 書き出し

- 1 <工場出荷設定>** 本製品に設定された内容から一部の設定内容(P.3-5)以外を出荷時の状態に戻します。
「ネットワーク、ユーザ情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します」にチェックマークを入れると、すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。
※初期化実行後、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1」(出荷時の設定)になります。
初期化によって、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。
- 2 設定の読み出し** [設定の書き込み](3)欄の操作で保存した設定ファイル(拡張子:tgz)の内容を本製品に読み出すとき使用します。
設定ファイルの保存先を指定するため、<選択>をクリックします。
表示された画面から、目的の設定ファイルを選択して、<開く(O)>をクリックすると、選択した設定ファイルの参照先がテキストボックスに表示されます。
<読み出し>をクリックすると、本製品に選択した設定内容を読み込みます。
※読み出しを完了すると、本製品は自動的に再起動します。
※市販のソフトウェアなどで編集したものは、誤動作の原因になりますので、本製品に登録しないでください。
- 3 設定の書き出し** 本製品すべての設定内容をパソコンに保存することで、本製品の設定をバックアップできます。
<選択>をクリックして、設定ファイル(拡張子:tgz)を保存する場所を選択します。
<書き出し>をクリックすることで、設定ファイルを保存します。
保存したファイルは、[設定の読み出し](2)欄の操作で、本製品に書き込みできます。

設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2 設定画面について

「メンテナンス」画面

システム > メンテナンス

■ 診断情報

情報ログとシステム構成を書き出したファイルを生成します。



診断情報の書き出し……………

情報ログとシステム構成を書き出します。

〈選択〉をクリックして、ファイル(拡張子:tgz)を保存する場所を選択します。

〈書き出し〉をクリックすることで、ファイルを保存します。

[画像デバッグ情報収集]をクリックすると、デバッグ情報を含む映像を同時に表示します。

■ デバイス再起動

〈再起動〉をクリックすると、本製品を再起動します。



この章では、
本製品の設定内容の保存、ファームウェアを更新する手順について説明しています。

1. 設定内容の保存	3-2
2. 保存された設定の読み出し	3-3
3. 設定を出荷時の状態に戻すには	3-4
■ 〈RESET〉ボタンを使用する	3-4
■ 設定画面を使用する	3-5
4. ファームウェアを更新する	3-6
■ ファームウェアについて	3-6
■ ファームウェアを更新する	3-7

3 保守について

1. 設定内容の保存

システム > メンテナンス

本製品の設定画面で変更された内容を設定ファイル(拡張子: tgz)としてパソコンに保存できます。

※ 保存した設定ファイル(拡張子: tgz)は、本製品以外の製品では使用できません。

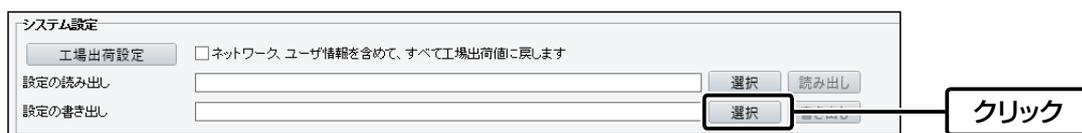
※ VE-CAM10で保存した設定ファイルをVE-CAM10Dで読み出しする、またはVE-CAM10Dで保存した設定ファイルをVE-CAM10で読み出しすることはできません。

※ 設定を保存しておく、誤って設定内容が失われたときなどに利用できます。

1 「システム」メニュー、「メンテナンス」の順にクリックします。

2 「設定の書き出し」項目の〈選択〉をクリックします。

選択した場所に設定ファイル(拡張子: tgz)が保存されます。



3 〈書き出し〉をクリックします。



3 保守について

2. 保存された設定の読み出し

システム > メンテナンス

本製品の設定画面からパソコンに保存した設定ファイル(P.3-2)を本製品に読み込む手順を説明します。

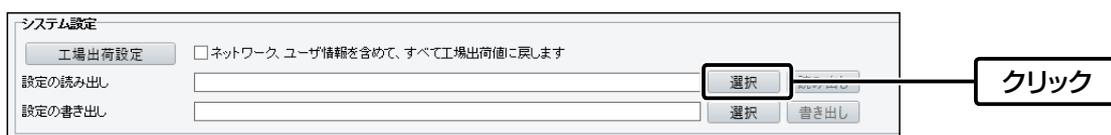
※VE-CAM10で保存した設定ファイル(拡張子:tgz)をVE-CAM10Dで読み込まないでください。

また、VE-CAM10Dで保存した設定ファイルをVE-CAM10で読み込まないでください。

1 「システム」メニュー、「メンテナンス」の順にクリックします。

2 「設定の読み出し」欄の〈選択〉をクリックします。

「開く」画面(別画面)が表示されます。

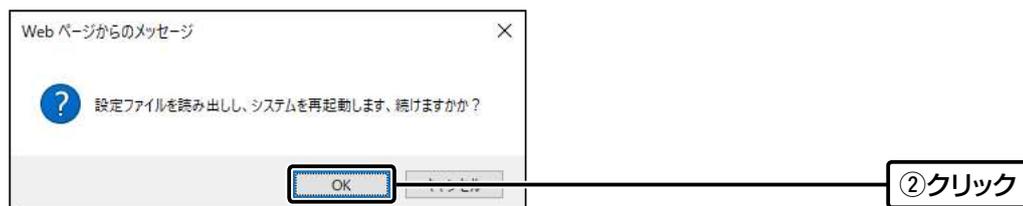


3 「開く」画面(別画面)から、設定ファイル(拡張子:tgz)を指定して、〈開く(O)〉をクリックします。

「設定の読み出し」欄のテキストボックスに、読み込む設定ファイルが表示されます。

4 〈読み出し〉をクリックします

※設定を読み込むために本製品が再起動します。



設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3 保守について

3. 設定を出荷時の状態に戻すには

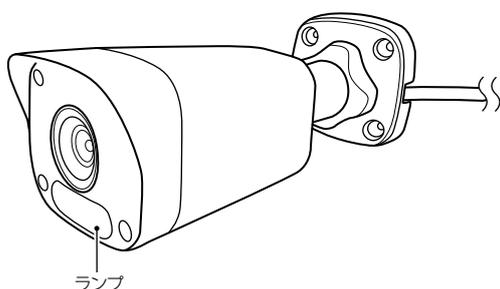
ネットワーク構成を変更するときなど、既存の設定データをすべて消去して、設定をはじめからやりなおすときは、本製品の設定内容を出荷時の状態に戻せます。

そのときの状況に応じて、次の2とおりの方法があります。

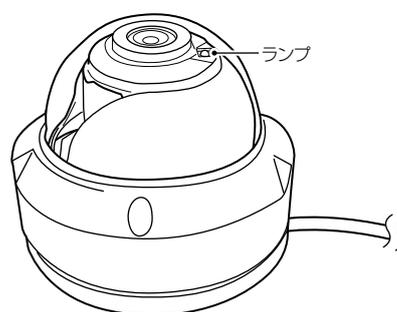
■ 〈RESET〉ボタンを使用する

- 1 本製品からすべての機器を取りはずして、電源を入れる
ランプの点灯を確認してから、手順2の動作を開始してください。

VE-CAM10

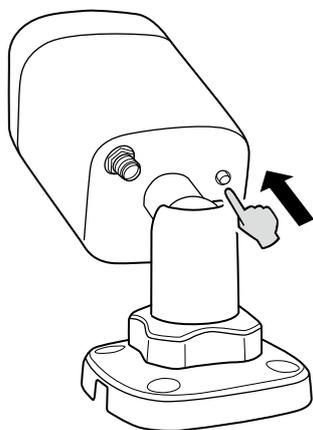


VE-CAM10D

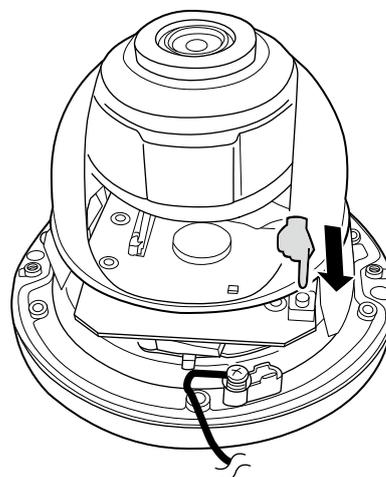


- 2 〈RESET〉ボタンを約15秒押す
出荷時の状態に戻すために、本製品が再起動します。

VE-CAM10



VE-CAM10D



ご注意

初期化すると、本製品のIPアドレスは、「192.168.0.1」(初期設定)になります。

初期化実行後、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。

3 保守について

3. 設定を出荷時の状態に戻すには

システム > メンテナンス

本製品に設定されたIPアドレスと管理者パスワードがわかっていて、そのIPアドレスで設定画面にアクセスできるときは、本製品の設定画面から、すべての設定を出荷時の状態に戻せます。

IPアドレスと管理者パスワードが不明な場合などの初期化については、3-4ページをご覧ください。

■ 設定画面を使用する

1 「システム」メニュー、「メンテナンス」の順にクリックします。

2 「工場出荷設定」をクリックします。



3 「OK」をクリックします。

出荷時の状態に戻すために、本製品が再起動します。



初期化の条件について

◎「ネットワーク、ユーザ情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します」にチェックマークを入れた場合

本製品に設定されたすべての内容を出荷時の状態に戻します。

初期化すると、本製品のIPアドレスは、「192.168.0.1」(初期設定)になります。

初期化実行後、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。

◎「ネットワーク、ユーザ情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します」にチェックマークを入れていない場合

下記の設定項目以外を出荷時の状態に戻します。

- 管理者用のパスワード
- 「ネットワーク」タブにある [IPアドレスを取得] 欄、[IPアドレス] 欄、[サブネットマスク] 欄、[デフォルトゲートウェイ] 欄 (P.2-14)
- 「時間」タブにある [システム時間] 欄 (P.2-15)
- 「Wi-Fi」タブ (P.2-22)
- 「DNS」画面 (P.2-26)
- 「ストレージ」タブにある [ビデオ容量 (MB)] 欄 (P.2-59)

3 保守について

4. ファームウェアを更新する

本製品の設定画面からファームウェアを更新できます。

共通 > 基本情報 > 基本情報

■ ファームウェアについて

ファームウェアは、本製品を動作させるために、出荷時から本製品のフラッシュメモリーに書き込まれているプログラムです。

このプログラムは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップすることがあります。

更新を実行する前に、本製品の設定画面にアクセスして、[基本情報]項目に表示されるバージョン情報を確認してください。

ファームウェアを更新すると、機能の追加など、本製品を最良の状態にできます。

基本情報	
型番	VE-CAM10
ファームウェアバージョン	XXXXXXXXXX
ハードウェアバージョン	A
ブートバージョン	V0.1
シリアル番号	
ネットワーク	192.168.0.1/255.255.255.0/192.168.0.2

バージョン情報

3 保守について

4. ファームウェアを更新する

システム > メンテナンス

■ ファームウェアを更新する

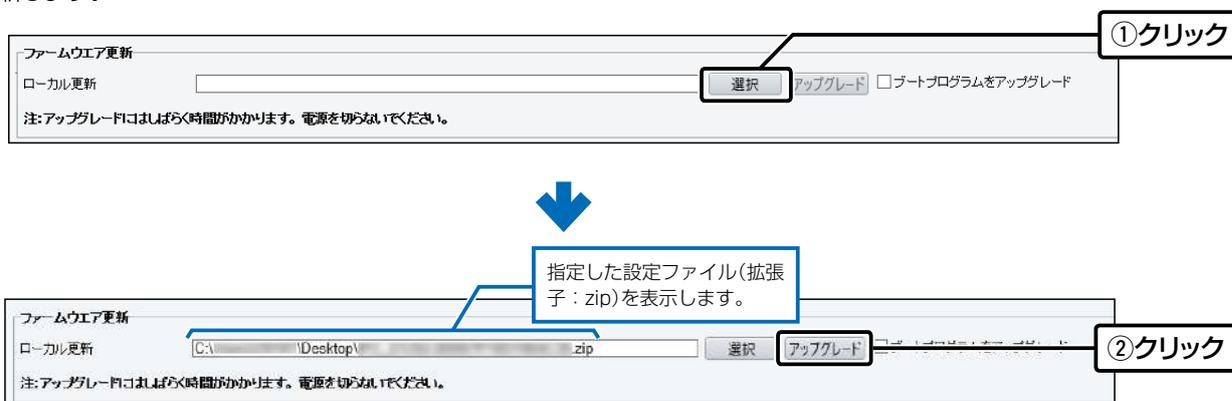
ファームウェアの更新を実行する前に、現在の設定内容を保存されることをおすすめします。(P.3-2)

※ 更新後、既存の設定内容が初期化されるファームウェアファイルがありますので、ダウンロードするときは、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

※ 日常、管理者以外の端末から更新できないように、設定画面へのアクセス制限の設定をおすすめします。(P.2-19)

1 「システム」メニュー、「メンテナンス」の順にクリックします。

2 下記のように、弊社ホームページよりダウンロードしたファームウェアファイル(拡張子: zip)の保存先を指定して、更新します。



3 <OK>をクリックします。

ファームウェアの更新後に本製品が再起動します。



この章では、
 困ったときの対処法、設定画面の構成、仕様などを説明しています。

1. 困ったときは	4-2
2. 設定画面の構成について	4-3
3. 定格について	4-5
■ 一般仕様(VE-CAM10)	4-5
■ 一般仕様(VE-CAM10D)	4-5
■ ネットワーク部	4-5
■ カメラ部(VE-CAM10)	4-6
■ カメラ部(VE-CAM10D)	4-6
■ 寸法図(VE-CAM10)	4-6
■ 寸法図(VE-CAM10D)	4-7

4 ご参考に

1. 困ったときは

下記のような現象は、故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

本製品が起動しない

- ACアダプターが本製品に接続されていない
→ 本製品のACアダプター、およびDCプラグの接続を確認する
- ACアダプターをパソコンなどの電源と連動したコンセントに接続している
→ 本製品のACアダプターを壁などのコンセントに直接接続する

本製品の画面が正しく表示されない

- WWWブラウザのJavaScript機能、およびCookieを無効に設定している
→ JavaScript機能、およびCookieを有効に設定する
- Microsoft Internet Explorer 10以前を使用している
→ Microsoft Internet Explorer 11以降を使用する

本製品の画面にアクセスできない

- IPアドレスのネットワーク部が、本製品とパソコンで異なっている
→ パソコンに設定されたIPアドレスのネットワーク部を本製品と同じにする
- ご使用のWWWブラウザにプロキシサーバーが設定されている
→ Internet Explorerの「ツール(T)」メニューから「インターネットオプション(O)」、[接続]タブ、〈LANの設定(L)〉の順に操作して、[設定を自動的に検出する(A)]や[LANにプロキシサーバーを使用する(X)]にチェックマークが入っていないことを確認する

ランプが点滅している

- LANケーブルが本製品と正しく接続されていない
→ 本製品の[LAN]ポート、またはLANケーブルを確認する
- ネットワークに接続されていない
→ ネットワークの設定がされているか確認する

ランプがつかない

- ACアダプターが本製品に接続されていない
→ 本製品のACアダプター、およびDCプラグの接続を確認する
- ナイトモードに設定されていない
→ 設定画面からナイトモードに設定する(P.2-45)

IPアドレスがわからない

- DHCPサーバー機能を設定して使用している
→ Guard Station(監視ソフトウェア)を起動して、「デバイス管理」に表示されているIPアドレスを確認する

ローカル録画とスナップショットが使用できない

- Internet Explorerを管理者権限で起動していない
→ 管理者権限でInternet Explorerを起動し、本製品の画面にアクセスする(P.1-9)

4 ご参考に

2. 設定画面の構成について

本製品の全設定を初期化したとき、WWWブラウザに表示される設定画面の構成です。

設定メニュー	設定画面	設定タブ/設定項目
共通	基本情報	基本情報
		基本情報
		状態
	ローカルパラメータ	共通設定
		ローカルパラメータ
		ビデオパラメータ
	ネットワーク	録画・スナップショット
		ネットワーク
	時間	ネットワーク
		時間
サマータイム		
OSD	サマータイム	
	ライブビュー	
ユーザー	表示形式	
	ユーザー	
ネットワーク	ネットワーク	ユーザー
		ネットワーク
		Wi-Fi
	DNS	ネットワーク状態
		Wi-Fiネットワーク
		Wi-Fi
	ポート設定	DNS
		ポート
		ポートマッピング
	Eメール	Eメール
送信者		
QoS	受信者	
	QoS	
ビデオ	ビデオ	QoS
		ビデオ
		メインストリーム
	スナップショット	サブストリーム
		サードストリーム
	ROI	スナップショット
		スナップショットスケジュール
	メディアストリーム	ROI
		メディアストリーム
		RTSPマルチキャストアドレス
メインストリーム		
	サブストリーム	
	サードストリーム	

4 ご参考に

2. 設定画面の構成について

設定メニュー	設定画面	設定タブ/設定項目
画像	画像	画像
		シーン
		画像補正
		露出
		スマート照明
		ホワイトバランス
		拡張設定
		ライブビュー
		表示形式
		プライバシーマスク
インテリジェント	侵入	侵入
		連動動作
イベント	標準アラーム	スケジュール
		動体検知
ストレージ	ストレージ	アラームパラメータ
		トリガー動作
		スケジュール
		タンパリング
		トリガー動作
		スケジュール
		ストレージ
		容量割り当て
		映像ストレージ情報
		FTP
セキュリティ	ユーザー	FTP
		サーバーパラメーター
		スナップショットイメージ
		ユーザー
		HTTPS
		認証方式
		ARP保護
		IPアドレスフィルタリング
		アクセス方式
		登録情報
システム	時間	登録情報
		時間
		サマータイム
		サマータイム
		メンテナンス
		メンテナンス
		ファームウェア更新
		システム設定
		診断情報
		デバイス再起動

4 ご参考に

3. 定格について

■ 一般仕様(VE-CAM10)

電	源	: DC12V±10% [DCプラグ極性: ⊖—●—⊕] ※ACアダプター(付属品)は、AC100V±10%						
消	費	電	力	: 最大5.5W				
使	用	環	境	: 温度-10～+60℃、湿度5～95% (結露状態を除く)				
外	形	寸	法	: 162.6(W)×62.4(H)×62.7(D)mm(突起物を除く)				
重	量			: 約290g(アンテナを含む)				
イ	ン	タ	ー	フ	ェ	ー	ス	: LEDランプ RESETボタン
メ	モ	リ	ー	カ	ー	ド		: microSDカード/microSDHCカード/microSDXCカード(256GBまで)
録	画	時	間					: 約130時間(256GB) ※「ビデオ」画面にある[撮影モード]欄(P.2-32)を「1080P@20」に設定したときに録画できる時間です。

■ 一般仕様(VE-CAM10D)

電	源	: DC12V±10% [DCプラグ極性: ⊖—●—⊕] ※ACアダプター(付属品)は、AC100V±10%						
消	費	電	力	: 最大5W				
使	用	環	境	: 温度-10～+60℃、湿度5～95% (結露状態を除く)				
外	形	寸	法	: φ108.5×81mm				
重	量			: 約350g(付属品を除く)				
イ	ン	タ	ー	フ	ェ	ー	ス	: LEDランプ RESETボタン
メ	モ	リ	ー	カ	ー	ド		: microSDカード/microSDHCカード/microSDXCカード(256GBまで)
録	画	時	間					: 約130時間(256GB) ※「ビデオ」画面にある[撮影モード]欄(P.2-32)を「1080P@20」に設定したときに録画できる時間です。

■ ネットワーク部

イ	ン	タ	ー	フ	ェ	ー	ス	: 有線LAN : [LAN]ポート(RJ-45型)×1 : 10BASE-T/100BASE-TX準拠 無線LAN : IEEE802.11b/g/n準拠 : WEP(64/128bit)、WPA-PSK/WPA2-PSK	
無	線	L	A	N	通	信	速	度	: 11Mbps(IEEE802.11b) 54Mbps(IEEE802.11g) 150Mbps(IEEE802.11n)
圧	縮	方	式					: Ultra 265、H.265、H.264、MJPEG	
解	像	度						: メインストリーム: 1080p @ 20fps サブストリーム: 720p @ 20fps サードストリーム: 4CIF @ 20fps	
ビ	ッ	ト	レ	ー	ト			: 64～16384kbps	
最	大	フ	レ	ー	ム	レ	ー	ト	: 20fps

4 ご参考に

3. 定格について

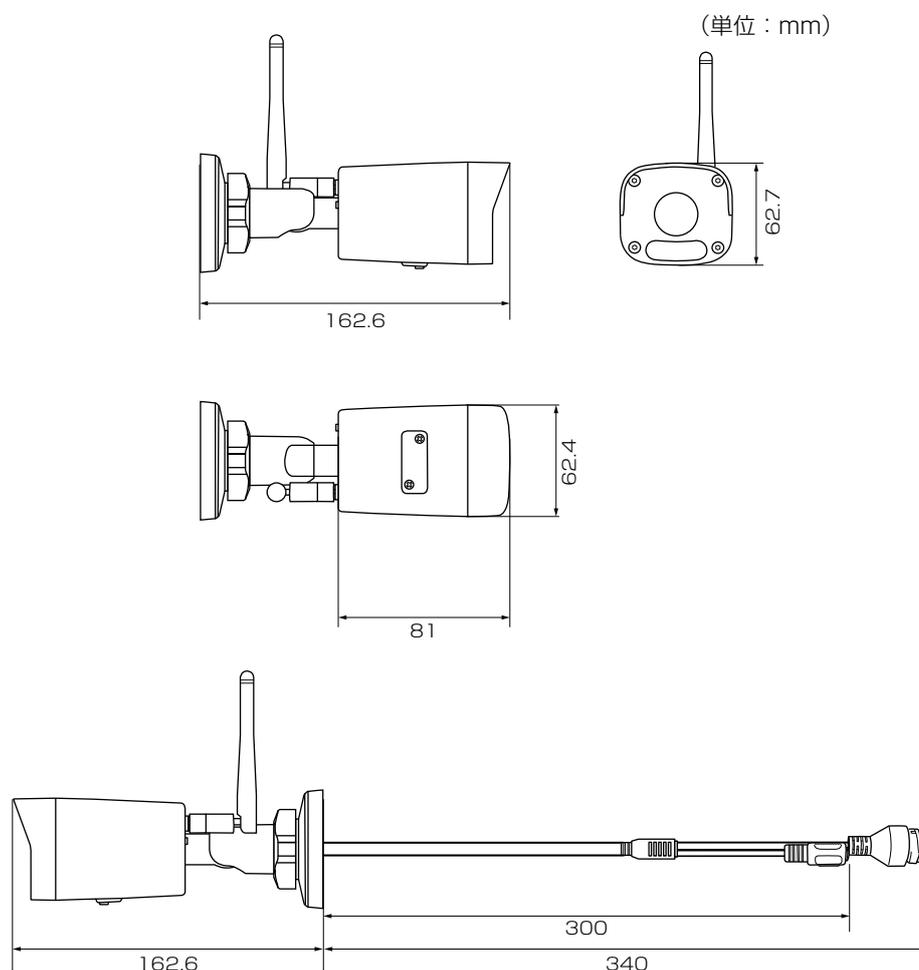
■ カメラ部(VE-CAM10)

撮 像 素 子	: 1/2.7 型 2MpixelプログレッシブスキャンCMOSイメージセンサー
焦 点 距 離	: 4.0mm
絞 り	: F2.0
対 角 画 角	: 水平:86.5°/垂直:44.1°/対角:106.4°
I R 照 射 距 離	: 照射距離:30m
最 低 被 写 体 照 度	: 0.02 Lux(カラー)、0 Lux(IR-on)

■ カメラ部(VE-CAM10D)

撮 像 素 子	: 1/2.7 型 2MpixelプログレッシブスキャンCMOSイメージセンサー
焦 点 距 離	: 2.8mm
絞 り	: F2.0
対 角 画 角	: 水平:112.7°/垂直:60.1°/対角:146.5°
I R 照 射 距 離	: 照射距離:30m
最 低 被 写 体 照 度	: 0.02 Lux(カラー)、0 Lux(IR-on)

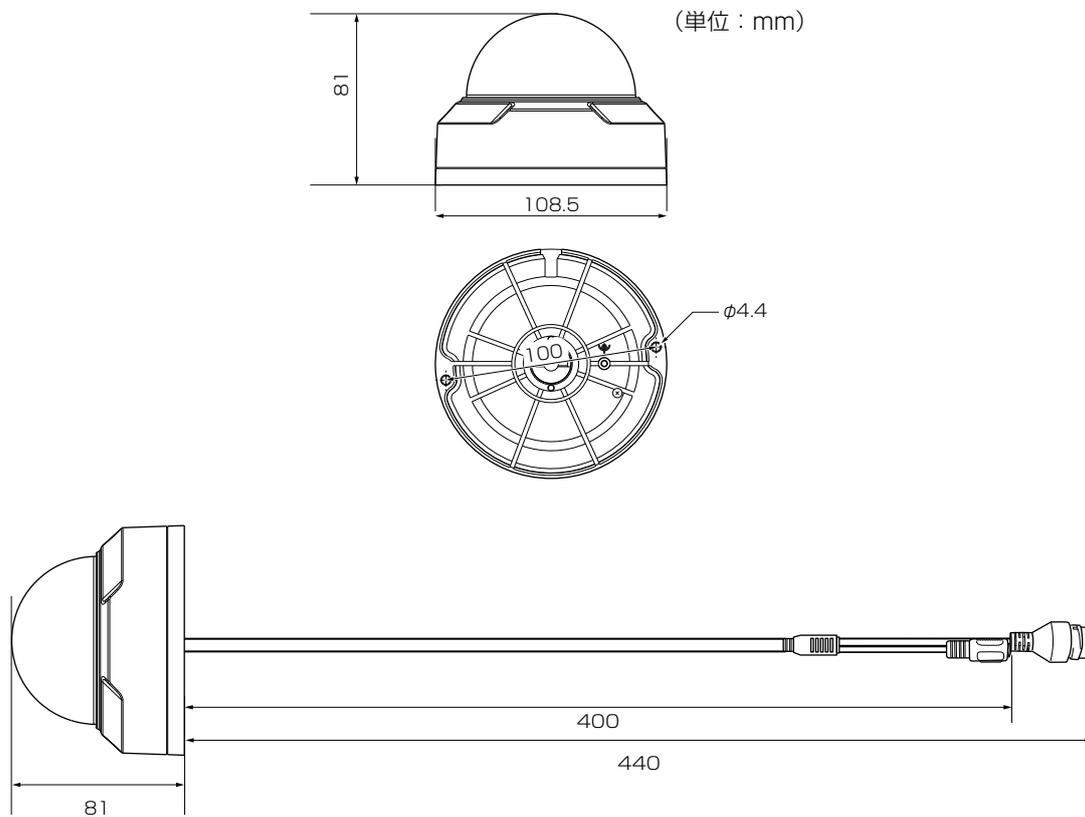
■ 寸法図(VE-CAM10)



4 ご参考に

3. 定格について

■ 寸法図(VE-CAM10D)



定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

高品質がテーマです。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A7552-3J-1
© 2020 Icom Inc. 202005